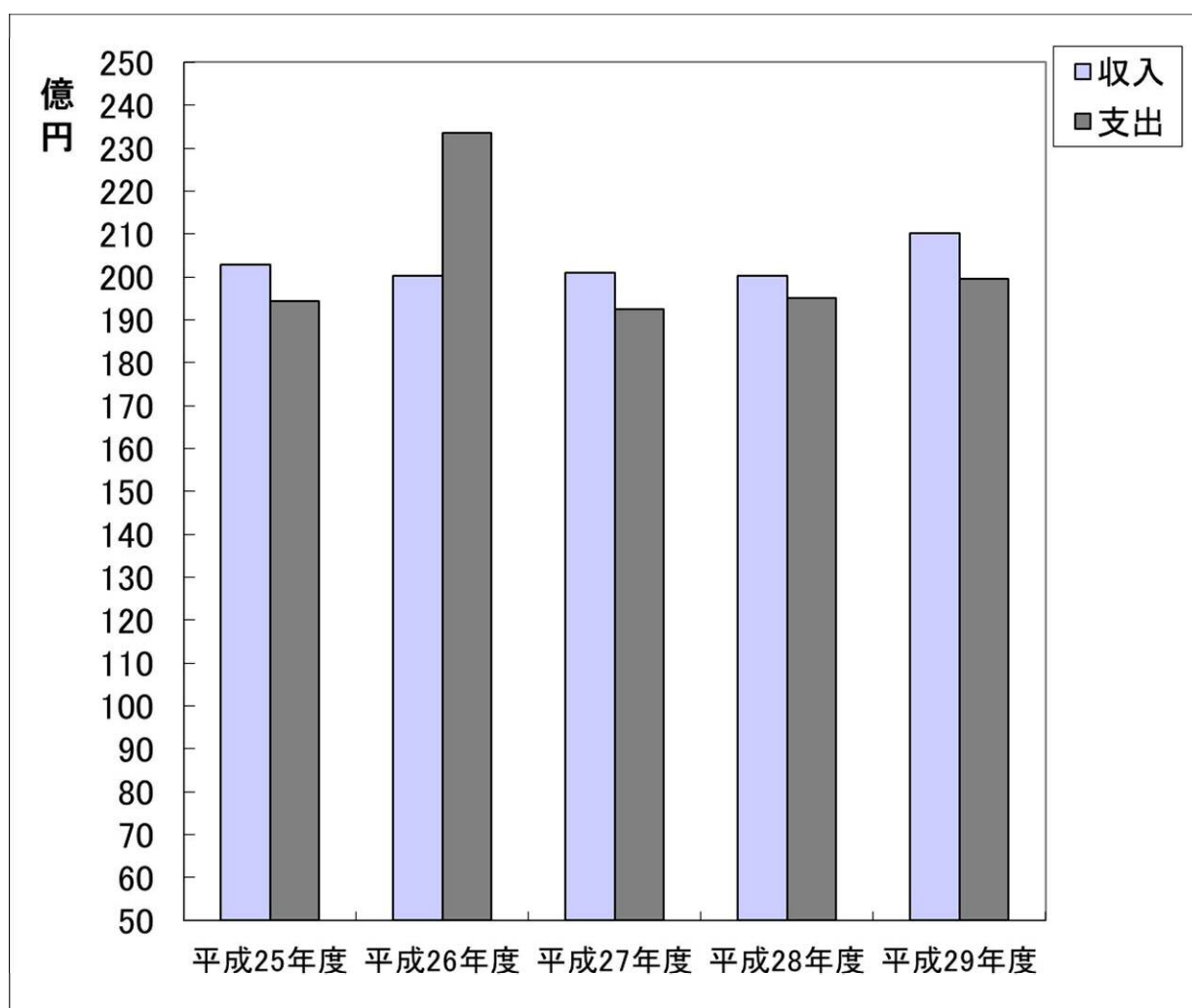


Ⅳ 経 理 概 要

1 年度別経営収支状況

(単位：千円)

年 度	収 入		支 出		損 益
	決 算 額	指 数	決 算 額	指 数	
平成25年度	20,290,579	100	19,432,171	100	858,408
平成26年度	20,035,777	99	23,363,614	120	-3,327,837
平成27年度	20,102,156	99	19,246,546	99	855,610
平成28年度	20,018,915	99	19,508,441	100	510,474
平成29年度	21,009,247	104	19,958,891	103	1,050,356



2 収入・支出状況

(1) 収益的収入及び支出

収 入

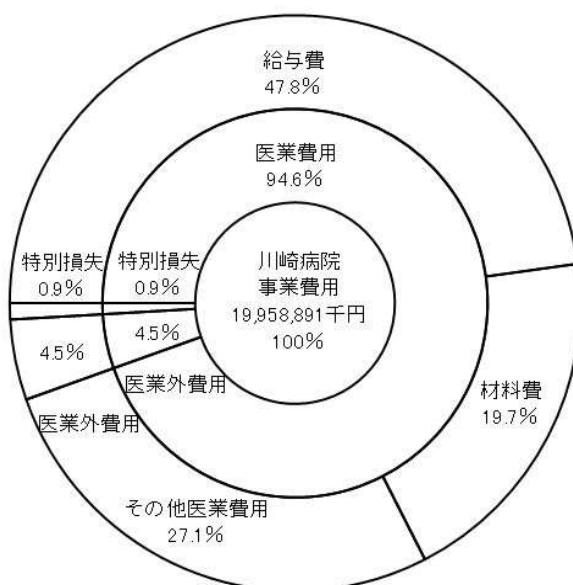
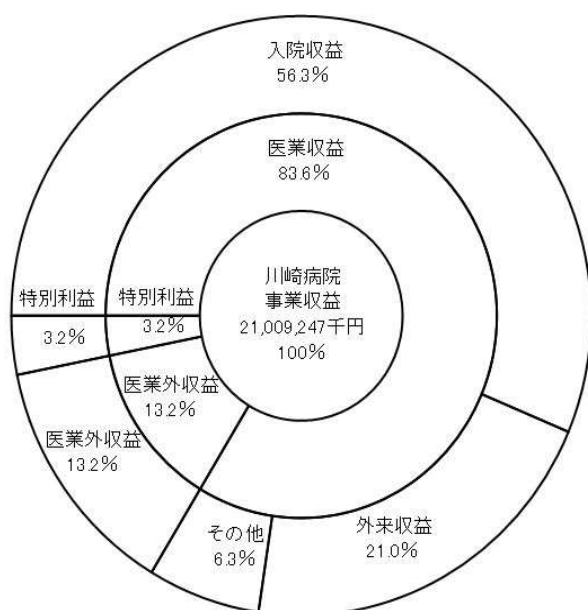
(単位：千円)

科 目	平成28年度		平成29年度	
	決算額	構成比率 (%)	決算額	構成比率 (%)
川崎病院事業収益	20,018,915	100.0	21,009,247	100.0
医業収益	16,704,394	83.4	17,571,937	83.6
入院収益	11,196,887	55.9	11,833,787	56.3
外来収益	4,171,594	20.8	4,418,823	21.0
その他	1,335,913	6.7	1,319,327	6.3
医業外収益	2,710,353	13.5	2,773,211	13.2
受取利息配当金	34	0.0	21	0.0
補助金	41,036	0.2	34,394	0.2
負担金交付金	1,849,309	9.2	1,943,865	9.3
長期前受金戻入	388,957	1.9	357,706	1.7
資本費繰入収益	219,539	1.1	219,242	1.0
その他	211,478	1.1	217,983	1.0
特別利益	604,168	3.0	664,099	3.2

支 出

(単位：千円)

科 目	平成28年度		平成29年度	
	決算額	構成比率 (%)	決算額	構成比率 (%)
川崎病院事業費用	19,508,441	100.0	19,958,891	100.0
医業費用	18,462,093	94.6	18,874,637	94.6
給与費	9,520,697	48.8	9,542,237	47.8
材料費	3,725,468	19.1	3,925,247	19.7
経 費	4,021,973	20.6	4,201,727	21.1
減価償却費	1,114,543	5.7	1,120,107	5.6
資産減耗費	18,672	0.1	32,762	0.2
研究研修費	60,740	0.3	52,557	0.3
医業外費用	908,362	4.7	902,651	4.5
特別損失	137,986	0.7	181,603	0.9



(2) 資本の収入及び支出

収 入

(単位：千円)

科 目	平成 28 年 度		平成 29 年 度	
	決算額	構成比率 (%)	決算額	構成比率 (%)
川崎病院事業資本の収入	1,616,373	100.0	1,549,974	100.0
企 業 債	543,000	33.6	539,000	34.8
出 資 金	0	0.0	0	0.0
固定資産売却代金	0	0.0	0	0.0
補 助 金	0	0.0	1,890	0.1
負 担 金	1,073,373	66.4	1,009,084	65.1

支 出

(単位：千円)

科 目	平成 28 年 度		平成 29 年 度	
	決算額	構成比率 (%)	決算額	構成比率 (%)
川崎病院事業資本の支出	2,701,045	100.0	2,559,328	100.0
建 設 改 良 費	809,837	30.0	643,013	25.1
企 業 債 償 還 金	1,891,208	70.0	1,916,315	74.9
長期借入金償還金	0	0.0	0	0.0

3 年度別一般会計繰入金及び出資金

(単位：千円)

種 別	年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収 益 的 収 入 他会計負担金、他会計補助金、 負担金交付金、資本費繰入収益		3,177,821	3,128,730	3,139,215	3,225,129
資 本 的 収 入 (出 資 金)		0	0	0	0

4 比較貸借対照表

(単位：千円)

科 目	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	増 減	前年度比 (%)	構成比率 (%)	
					平 成 28年度	平 成 29年度
固定資産	17,046,228	16,582,997	△ 463,231	97.3	74.6	75.9
有形固定資産	17,046,228	16,582,997	△ 463,231	97.3	74.6	75.9
土 地	426,224	426,224	0	100.0	1.9	2.0
建 物	14,065,623	13,546,997	△ 518,626	96.3	61.5	62.0
構築物	49,000	48,266	△ 734	98.5	0.2	0.2
器械備品	2,393,059	2,401,714	8,655	100.4	10.5	11.0
車 両	2,019	2,887	868	143.0	0.0	0.0
リース資産	76,073	123,655	47,582	162.5	0.3	0.6
その他	31,421	30,013	△ 1,408	95.5	0.1	0.1
建設仮勘定	2,808	3,240	432	115.4	0.0	0.0
無形固定資産	—	—	—	—	—	—
施設利用権	—	—	—	—	—	—
流動資産	5,811,875	5,258,058	△ 553,817	90.5	25.4	24.1
現金預金	2,962,743	2,329,370	△ 633,373	78.6	13.0	10.7
未収金	2,757,403	2,852,094	94,691	103.4	12.1	13.1
貯蔵品	91,729	76,594	△ 15,135	83.5	0.4	0.4
前払金	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—
資産合計	22,858,103	21,841,055	△ 1,017,048	95.6	100.0	100.0

(単位：千円)

科 目	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	増 減	前年度比 (%)	構成比率 (%)	
					平 成 28年度	平 成 29年度
固定負債	22,339,191	20,922,798	△ 1,416,393	93.7	73.8	70.0
企業債	18,793,856	17,324,236	△ 1,469,620	92.2	62.1	57.9
リース債務	44,116	96,047	51,931	217.7	0.1	0.3
引当金	3,501,219	3,502,515	1,296	100.0	11.6	11.7
流動負債	4,992,599	4,985,540	△ 7,059	99.9	16.5	16.7
企業債	1,916,315	2,008,621	92,306	104.8	6.3	6.7
リース債務	17,288	15,666	△ 1,622	90.6	0.1	0.1
未払金	2,318,005	2,167,334	△ 150,671	93.5	7.7	7.2
未払費用	138,718	172,647	33,929	124.5	0.5	0.6
引当金	499,508	518,465	18,957	103.8	1.7	1.7
その他	102,765	102,807	42	100.0	0.3	0.3
繰延収益	536,999	536,033	△ 966	99.8	1.8	1.8
負債合計	27,868,789	26,444,371	△ 1,424,418	94.9	92.1	88.4
資本金	8,750,047	8,750,047	0	100.0	28.9	29.3
自己資本	—	—	—	—	—	—
借入資本	—	—	—	—	—	—
企業債	—	—	—	—	—	—
剰余金	△ 6,346,290	△ 5,289,507	1,056,783	83.3	△ 21.0	△ 17.7
資本剰余金	65,445	71,872	6,427	109.8	0.2	0.2
受贈財産評価額	30,092	30,092	0	100.0	0.1	0.1
補助金	22,897	22,897	0	100.0	0.1	0.1
負担金	12,456	18,883	6,427	151.6	0.0	0.1
欠損金	6,411,735	5,361,379	△ 1,050,356	83.6	△ 21.2	△ 17.9
当年度未処理決損金	6,411,735	5,361,379	△ 1,050,356	83.6	△ 21.2	△ 17.9
資本合計	2,403,756	3,460,539	1,056,783	144.0	7.9	11.6
負債資本合計	30,272,545	29,904,910	△ 367,635	98.8	100.0	100.0

※ 各表の数値については、端数処理の関係から合計値が一致しない場合があります。

5 主な経営分析

項 目	平成28年度	平成29年度	
(1) 病床利用率 (%)			
一般 = $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	72.3	77.1	
精神 = $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	60.7	52.6	
感染 = $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	0.0	0.0	
(2) 一日平均患者数 (人)			
入院 = $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{診療日数}}$	502.8	531.0	
外来 = $\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{診療日数}}$	1393.1	1371.3	
(3) 外来入院患者比率 (%) $\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延入院患者数}} \times 100$	184.5	172.6	
(4) 職員1人当たり患者数 (人)			
医 師	入院 = $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延医師数}}$	3.8	4.1
	外来 = $\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延医師数}}$	10.5	10.7
看護部門	入院 = $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延看護部門職員数}}$	0.8	0.9
	外来 = $\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延看護部門職員数}}$	2.3	2.3
(5) 患者1人1日当たり診療収入 (円)			
入院 = $\frac{\text{入院収益}}{\text{年延入院患者数}}$	61,016	61,055	
外来 = $\frac{\text{外来収益}}{\text{年延外来患者数}}$	12,323	13,206	
(6) 患者1人1日 当たり薬品費 (円) = $\frac{\text{薬品費 (投薬・注射)}}{\text{年延患者総数}}$	2,811	3,155	
(7) 入院患者1人1日当たり給食材料費 (円)			
= $\frac{\text{給食材料費}}{\text{年延入院患者数}}$	627	631	

項 目	平成28年度	平成29年度
(8) 薬品使用効率 (%) = $\frac{\text{投薬注射収入}}{\text{薬品費}} \times 100$	69.3	74.0
(9) 診療収入に対する割合 (%)		
投薬注射収入 $\frac{\text{投薬注射収入}}{\text{入院外来収益}} \times 100$	9.5	10.3
検査収入 $\frac{\text{検査収入}}{\text{入院外来収益}} \times 100$	7.9	7.8
放射線収入 $\frac{\text{放射線収入}}{\text{入院外来収益}} \times 100$	4.4	4.1
(10) 医業収益に対する割合 (%)		
薬品費 $\frac{\text{薬品費}}{\text{医業収益}} \times 100$	12.7	12.8
診療材料費 $\frac{\text{診療材料費}}{\text{医業収益}} \times 100$	8.9	8.7
給与費 $\frac{\text{給与費}}{\text{医業収益}} \times 100$	57.0	54.3

V 研究・研修及び実習・講師派遣

1 診療関係研究

平成 29 年度 C. P. C 開催内容

通 常 型	開催番号	年月日	剖検番号	症例事項名	主治医	病理担当
	第382回	10月25日	A-6052	慢性十二指腸乳頭炎, 播種性抗酸菌感染症	木村文将	紅林 泰仁 杉浦
	第383回	11月22日	A-6064	骨髄異形成症候群、急性白血病化	鈴木啓介	折笠英紀
	第384回	12月20日	A-6079	食道胃接合部癌術後	道振康平	折笠英紀
	第385回	平成30年 1月24日	A-6067	防水スプレー吸入による肺障害	永田亮平	堀井 千裕 杉浦 仁

各診療科カンファレンス状況

各 科	検討会	抄読会	研究会	各カンファレンス内容
内 科	週1回	週1回	月1回	内科 (週1回) 循環器 (週1回) 内視鏡 (週1回) リウマチ (週1回) 腎臓 (週1回) 神経 (週1回) 呼吸器 (週1回) 総診 (週1回) 消化器 (週1回)
精 神 科	週1回			病棟カンファレンス (週1回) 医局カンファレンス (週1回) 病棟回診 (週1回)
小 児 科 新生児内科	週1回	週1回		神奈川県下10病院合同症例検討会 (年1回) 川崎市小児科医会症例検討会 (年2回) 病棟回診 (週2回) カルテ回診 (週1回) 慶大小児科高橋教授回診 (月2回) X線画像カンファレンス (週1回) 症例検討会 (月2回)
外 科	週1回	月1回		部長回診 (週1回) 術前・術後カンファレンス (各週1回) 消化器カンファレンス (隔週) 救急外科カンファレンス (不定期) 合併症カンファレンス (不定期)
脳神経外科	週4回	適宜		脳神経カンファレンス (週1回) カルテ回診 (週1回) 術前カンファレンス (週1回) 病棟カンファレンス (週1回)
整 形 外 科	週1回	適宜	年2回	X線画像カンファレンス (週5回) 入院患者カンファレンス (週1回) 全体カンファレンス (月1回)
形 成 外 科	週1回	月1回	年2回	術前カンファレンス (週1回) 抄読会(月1回) 同門会 (年2回)
心臓血管外科	週1回			循環器合同 (週1回) 術前カンファレンス (週1回)
皮 膚 科	週1回	適宜		皮膚病理 (週1回) 市皮膚科医会症例検討 (年2回) 県7病院症例検討会 (年3回) 臨床画像カンファレンス (週1回)

各 科	検討会	抄読会	研究会	各カンファレンス内容
泌尿器科	週2回			術前カンファレンス（週1回） 病棟カンファレンス（週1回）
産科・婦人科	週1回		年2回	ハイリスク症例検討（週1回） 手術症例検討会（週1回） 勉強会（月2回） カルテ回診（週1回） 放射線カンファレンス（年4回）
眼 科	週1回	月2回	年1回	症例検討カンファレンス（週1回）
耳鼻咽喉科	週4回	月2回		術前カンファレンス（週1回） 病棟カンファレンス（週1回） 癌治療カンファレンス（週1回） 耳鼻科・放射線合同カンファレンス（週1回） 耳鼻科・リハ科合同嚥下カンファレンス（月1回）
放射線診断科	週4回	適宜		放射線科画像カンファレンス（週1回） 消化器画像カンファレンス（月2回） 小児科画像カンファレンス（週1回） 産婦人科画像カンファレンス（年4回） 呼吸器画像カンファレンス（週1回） 脳神経カンファレンス（週1回）
放射線治療科	週1回			耳鼻科・放射線治療科合同カンファレンス（週1回） 呼吸器合同カンファレンス（週1回）
麻 酔 科	毎日	月2回		術前カンファレンス（週5回）
リハビリテーション科		月1回		耳鼻科・リハビリテーション科合同嚥下カンファレンス（月1回） 摂食嚥下ランチ回診、カンファレンス（月2回） 脳神経外科病棟カンファレンス（週1回） 整形外科カンファレンス（医師：週1回、療法士：週2回） SCU部会（月2回） NSTカンファレンス（週1回） NST部会（月1回） NST回診（週2回） 神経内科カンファレンス（週1回）
歯科・口腔外科	週1回	適宜	年3回	カンファレンス（週1回） 川崎病院症例検討会（年3回）
救 急 科	週14回	月4回		総合カンファレンス（月4回）、症例検討会（週14回） 救急科・外科合同カンファレンス（適時）
病理診断科	毎日			症例検討会（毎日）、消化器カンファレンス（月1回）

2 院内研究交流会 平成 30 年 2 月 26 日(月) 18:00~20:00

演 題	演 者	所 属
当院初期・後期臨床研修医のMRSA鼻腔保菌者の検討	市原雄一郎 今本多計臣 遠藤洵之介 及川紗由香 田中優衣 間崎光 松山遼太郎	初期研修医
平成 29 年度 ME機器汚染度調査	笹屋賢史 古家いずみ 黒長俊也 佐渡萌 加藤幸穂 門馬栄菜 山下絵里 西根啓太 芝真佐樹 井汲康典 山口和哉 中尾一俊 森田慶久	MEセンター 麻酔科
人工呼吸器のトラブル件数について報告	黒長俊也 加藤幸穂 山下絵里 門馬栄菜 佐渡萌 西根啓太 笹屋賢史 芝真佐樹 井汲康典 山口和哉 中尾一俊 森田慶久	MEセンター 麻酔科
当院での時間外MR検査運用における現況報告	小林裕介 小野美歩 大橋幸也 引地利昭 川野保夫 佐藤宏朗	放射線診断科
救命救急センターにおける挿管患者の口腔ケア標準化に向けた取り組み【ケア定着のための総合的介入】	城詰和貴 野口杏実 服部拓也 奈良唯唯子 古瀬美穂	9 階南病棟
CHDF患者に対してVCMの投与量を推奨した一例	町田浩晃 小林綾 小林岳	薬剤部

演 題	演 者	所 属
	飯島尚志	
肘関節側面撮影を応用した尺骨神経溝のポジショニングの検討	鈴木淳 川島美幸 菅澤諒 井上憲治 桂嶽亮 三宅博之 池本孝司 角田昭夫 川野保夫	放射線診断科
苦痛のスクリーニングの導入についての取り組み	夏錦言 田口博章 千島美奈子 塩津未季	緩和ケア委員会
がん患者団体活動計画～がん患者サロンの取り組み～	寺内絵己 竹中信夫 夏錦言 北村修 森田博志 栗田勝子 渡邊恭子 塩津未季 藤原奈保子	地域医療部 がん相談支援センター
CONUT変法を用いた栄養不良患者スクリーニング導入によるNSTの新たな取り組み	廣瀬麻未 井上彰大 清水谷弘美 小島巖 古瀬美穂 阿部玲音	検査科生理検査室 薬剤部 食養科 リハビリテーション科 看護部
精神科リエゾンラウンド実践報告と課題 ～一般病棟における精神症状に焦点を当てて～	西森春江 吉崎弘之	精神科リエゾンチーム
スタッフ事務室のフリーアドレス化 【個人机から共用机に変更し18人定員から30人定員へ】	野田剛 中村一司 佐藤栄司 鈴木正人 西山隆晃 阿部玲音	リハビリテーション科 オリックス・ファシリティーズ株式会社 庶務課管理係 庶務課経理係
病棟ダイルームを活用したリハビリテーション実施とその効果	小島巖 野田剛 13N病棟看護師 柳井田恭子 阿部玲音	リハビリテーション科 看護部

演 題	演 者	所 属
ACLSを含めた急変時の看護について ～シミュレーション教育を用いた教育プログラムの評価～	高橋貴子 高良由美子 佐藤律子 奈良唯唯子	主任会 救命認定看護師
簡易懸濁法導入によるフィーディングチューブ閉塞の原因 と対策	井上彰大	薬剤部
平成 29 年度 ME機器紛失届	山下絵里 加藤幸穂 古家いずみ 黒長俊也 佐渡萌 門馬栄菜 笹屋賢史 西根啓太 芝真佐樹 井汲康典 山口和哉 中尾一俊 森田慶久	MEセンター 麻酔科
当院での心臓リハビリテーションの新規立ち上げと運用方 法について	小島巖 佐藤直人 野田剛 西澤健也 阿部玲音	リハビリテーショ ン科 冠血管集中治療室
当院での心臓リハビリテーション取り組みについて	鶴川元帥 小島巖 佐久間祐樹	心臓リハビリテー ション指導士 理学療法士 ICUCCU
HファイルとEFファイルの不一致を減らすための取り組み	原田直子	師長会診療報酬班
退院時の栄養情報提供について	清水谷弘美	栄養サポートチー ム
触れるとは何か	加藤恭介 長田枝利香	初期研修医 小児科
川崎市立川崎病院職員における昼食選択と塩分摂取量に関 する比較検討	田中邦生 内田絢子 佐藤慎吾 佐柳太一 古橋和謙 森田すみれ	初期研修医

演 題	演 者	所 属
グラム陰性桿菌髄膜炎の診断を契機に播種性糞線虫症の診断に至ったHTLV-1 キャリアの一例	鈴木友博 田中美紀 田中季樹 中川原賢亮 中村有吾 西川賢 原碧 藤田野々香 細尾真奈美 山下友寛	初期研修医

3 看護研究発表会

(1) 事例研究発表会

ア 第20回院内発表会 1日目 平成29年11月25日

講師 川崎市立看護短期大学

氏名	所属	テーマ
北田 夢乃	11S	術前処置後の認知症患者との関わりで学んだこと
石井 冴映	11S	乳がん患者の術前の不安に対する看護師の関わり
入澤 栞里	11S	家族が患者とより良い最期の時間を過ごすための看護師の関わり ～家族と共にいったエンゼルケアを振り返って～
中山 結花	10N	自立して歩行していた患者の深部静脈血栓症発症 ～予防するための関わりを振り返る～
三上 千佳	10N	抑制患者に対するストレス軽減をするための関わり方
森元 ちなみ	10N	治療に対し迷いのある患者の事例を振り返って ～意思決定の支援について学ぶ～
長内 瞳	10S	転移を告知された子宮頸癌患者への関わりで学んだこと ～不安を軽減するため傾聴とタッチングの必要性～
鈴木 茉莉	10S	ターミナル患者の疼痛コントロールへの関わり～QOLの向上のために～
佐藤 靖晃	9S	救急病棟入院となり遷延化した不穏行動の見られる患者に対しての看護
内田 善也	9S	言葉が通じない外国人患者に対する看護の難しさ ～自身のコミュニケーションを通して学んだこと～
寺井 晴香	9S	急性期患者への精神的ケア～脊椎損傷患者との関わりから学んだ事～
今住 由実	8N	双極性障害既往の妊婦との関わり ～うつ症状が現れた妊婦との関わり方～
平野 菜津子	8N	ある高齢初産婦の分娩期から産褥期までの心理的变化について ～メンタルサポートの必要性～
寺崎 友美	8N	母子分離となった褥婦の思い～褥婦との関わりからの自己の振り返り～
川崎 由希	8N	児がGCU入院となった母の受容過程とケアについて
高橋 明日佳	8S	I型糖尿病の学童女子に対しての退院指導 ～セルフケアできるように個別性を踏まえたパンフレット指導の振り返り～
工藤 千亜沙	8W	鎮静を必要とする患児のストレス緩和への援助
佐藤 美希	ICU・CCU	くも膜下出血の術後、頭痛の強い患者へコミュニケーションをはかり痛みを軽減できた事例を振り返る
藤原 拓郎	ICU・CCU	くも膜下出血クリッピング術後、意識レベルの低下や失語を生じた患者が見せる言動や仕草に対する自身の関わりを振り返る

平間 亜美	手術室	手術をうけたことを後悔している患者との関わりを通して ～術後訪問を振り返って～
黒岩 智恵美	手術室	不安を軽減するために手術室看護師ができること ～意識下で手術を受ける患者の機械音による不安の訴えを聞いて～

イ 第20回院内発表会 2日目 平成29年12月2日

講師 神奈川県立保健福祉大学

氏名	所属	テーマ
辻 麻菜実	14N	ナースコールによる訴えが多い患者とのコミュニケーションを通して学んだこと～バリデーションを取り入れた前後の自分の対応を比較して～
梶丸 美優	14S	ターミナル期の患者とその家族とのかかわりを振り返る
野寄 愛華	14S	壮年期終末期患者とのコミュニケーションに必要な関わりとはなにか
村田 莉沙	13N	アルツハイマー型認知症患者への関わり方 ～先輩看護師の対応と比較して学んだ事～
笠井 綾香	13N	安全面・倫理面を考慮した身体拘束のあり方 ～患者個々に合わせた細かな配慮～
川村 梓	13S	急激に状態変化を来したがん終末期患者の家族との関わりを通して ～家族の受け止めやニーズに合わせた看護ケアとは～
阿部 優樹	13S	高次機能障害の患者との関わりを通して
齋藤 陽子	12S	脳血管障害により失語となった患者に対する手浴の効果について
井上 彩子	12S	失語症患者の意思疎通を向上させるための関わり
糺澤 すみれ	11N	患者と信頼関係を築くための関わり
沼田 奈々	11N	がん性疼痛のある患者との関わりを通して

(2) 看護研究発表会

ア 第72回院内発表会 平成30年1月27日(土) 9:00～17:00

講師：武蔵野大学 香春 知永

	所属	タイトル	メンバー
1	ICU・CCU	当院ICU・CCU病棟看護師のリリーフに対する実態調査から～やりがいのある看護を考える～	○菅野光子、佐久間祐樹、蘭賀芽衣、荒井絵里
2	ICU・CCU	ICU看護師による術前訪問の評価について	○達かおり、三津田舞、小松あかね
3	8N	予定帝王切開分娩後の母乳栄養確立にむけて～妊娠期間からの保健指導と早期の乳頭刺激が母乳育児に与える影響～	○山田あゆみ、薄根安奈、吉田宏枝

	所属	タイトル	メンバー
4	8N	助産外来に関する助産師の技術習得状況と今後の課題	○内田美恵、工藤あゆみ、酒井友美
5	9S	災害拠点病院における職員への継続教育の重要性について	○塚田千代、酒向緑(8S)、岡部奈未、金子逸美、久野昭子
6	9S	当救命救急センターにおける気管内挿管患者の口腔ケアの標準化へ向けた取り組み	○城詰和貴、野口杏実、服部拓也、奈良唯唯子、古瀬美穂
7	9N	精神科病棟の病棟ルールをめぐる現状と課題	○吉崎弘之、石井義治、西森春江
8	12S	教育方法の変更から見えたこと ～新人指導および新人から得たアンケート結果より～	○中村静枝、佐藤江利子(12N)、長田さやか(11S)、廣川恵子(9S)
9	12S	前頭葉機能障害患者への生活再構築に向けた取り組み～社会的行動障害を持つ患者への看護介入～	○森亜沙美、藤田有衣
10	13S	急性期病院における終末期患者の心のケア ～コミュニケーションの実際と今後の課題～	○木下佳純、後藤京子、原愛実
11	14N	A病棟における看護の実際の可視化について	○熊谷恵子、潮平涼子、田所みき子
12	14N	終末期の思いが異なる患者と家族の退院調整について振り返る	○渡邊ゆかり、平戸景子、阿部真由美
13	主任会	R R Sを導入後の急変時の看護の質向上への取り組み	○高橋貴子(ICU)、佐藤律子(12S)、高良由美子(10S)、奈良唯唯子(9S)

(3) 院外看護研究派遣者

学会名	演題	発表者氏名	月日
第31回日本手術看護学会	手術室で発生した皮膚トラブルに関する看護師の意識、継続看護の実態調査～情報共有で病棟での継続した看護につなげる～	元麻李	平成29年 11月3日・4日
第45回日本集中治療医学会 学術集会	バイタルサイン・外部データ自動取り込みシステム導入による看護記録業務の効果と課題	佐久間祐樹	平成30年 2月21日～23日
第56回全国自治体病院学会	職場意識変容への取り組み～職場コミュニティ 感覚尺度を用いた調査～	鶴巻元子	平成29年 10月19日・20日

学会名	演題	発表者氏名	月日
第56回全国自治体病院学会	看護補助者ひとり一人が働きやすい職場を目指して～看護補助者の意識調査～	武田玲子	平成29年 10月19日・20日
第48回日本看護学会看護管理学会	アクションリサーチを用いたスタッフの災害への意識変容～災害シミュレーションを通して～	吉田美紗	平成29年 10月12日・13日
第48回日本看護学会看護管理学会	看護師長の実践知の共有～マネジメント発表会の現状と課題～	柳井田恭子	平成29年 10月12日・13日
第48回日本看護学会看護管理学会	一人ひとりが働きやすいと思う職場を目指して①組織への「愛着」に影響する要因	出水要子	平成29年 10月12日・13日
第48回日本看護学会看護管理学会	一人ひとりが働きやすいと思う職場を目指して②子育て支援とそれを支える職員との思いのずれ	原田直子	平成29年 10月12日・13日
第48回日本看護学会看護管理学会	一人ひとりが働きやすいと思う職場を目指して③看護師が思う「働きやすい職場」とその構造	柳井田恭子	平成29年 10月12日・13日
日本臨床救急医学会総会学術集会	薬物過剰摂取患者の深部静脈血栓予防の視点～肺血栓側線症の発症例と非発症例との比較調査より～	大山美和子	平成29年 5月27日

4 研修

(1) 看護部 院内研修実施状況

No.	研修名	研修内容	実施年月日	参加者人数	会場	講師
1	新人看護職員入職ガイダンス	病院長あいさつ・副院長兼看護部長講話・看護部概要・看護部組織活動・電子カルテ基本操作・三役紹介・事務連絡・自治会活動・防災・勤務管理・職員衛生・職員ファイル・BLS	2017/4/3 (半日) 2017/4/10 (1日) 2017/4/11 (1日)	4月 採用者 39名	7階 講堂	成松院長 綱嶋副院長 兼看護部長 千島副看護部長 庶務課、 管理係 院内救急対策部会 教育委員会
2	新採用者看護技術演習	採血・血糖測定・インスリン皮下注射・静脈注射・点滴管理・輸液ポンプ・シリンジポンプ操作・清潔操作・酸素吸入・ネブライザー・吸引・オムツ交換・体位変換 ポジショニング・食事介助・経腸栄養・移動解除(移送移譲)	2017年 4/12、4/17 4/24、5/8 5/15、5/22 5/26	4月 採用者 39名	7階 講堂	教育委員会 認定看護師 副主任会 院内救急対策部会

No.	研修名	研修内容	実施年月日	参加者人数	会場	講師
3	臨床実習指導者研修①	臨床指導者の役割 看護学生の特徴	2017/4/17	21名	フロア	川崎市立看護短期大学 教授 滝島紀子
4	新規採用者研修	専門職として学ぶこと	2017/4/28	39名	フロア	川崎看護短期大学 非常勤講師 植垣一彦
5	認定看護師による講演	脳卒中リハビリテーション看護	2017/5/10	81名	7階講堂	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
6	認定看護師による公開講座	摂食・嚥下障害看護	2017/5/1	36名	7階講堂	脳卒中リハビリ認定看護師 認定看護師会
7	キャリアマネジメント研修	キャリアマネジメント	2017/5/19	23名	フロア	東京医療保険大学 教授 宮本千津子
8	新人看護職員研修院内感染を防止するために	感染防止における看護師の役割 安全防止の実際 病棟での実際（グループワーク）	2017/5/22 (1日)	4月新採者 39名	7階講堂	感染対策室 教育委員会
9	新人看護職員研修安全な看護を提供するために	薬剤管理の基礎知識 安全な与薬方法 インシデント教訓事例からの学び 安全な看護を提供すること（グループワーク）	2017/5/29 (1日)	4月新採者 39名	7階講堂	薬剤部係長 担当係長 副主任 教育委員会
10	担当看護師のための看護記録研修	記録の意義を考える 実際の記録を評価する	2017/6/19	40名	フロア	川崎市立看護短期大学 教授 滝島紀子
11	看護記録研修Ⅰコース第2回	看護過程 看護診断	2017/6/19	40名	フロア	川崎市立看護短期大学 教授 滝島紀子
12	夜勤準備研修	フィジカルアセスメントの基礎知識 急変時の対応 看護業務の優先順位	2017/6/26	40名	フロア	井田病院 認定看護師
13	認定看護師による講演	救急看護	2017/7/5	51名	7階講堂	救急看護認定看護師
14	認定看護師による公開講座	糖尿病看護	2017/7/5	21名	7階講堂	糖尿病看護認定看護師
15	看護助手研修	医療制度の概要及び病院の機能と組織の理解他	2017/7/11	37名	7階大会議室	教育委員会
16	看護記録研修Ⅲ①	看護記録監査	2017/7/22	34名	フロア	川崎市立看護短期大学 教授 滝島紀子
17	看護記録研修Ⅲ②	看護記録監査	2017/8/26	31名	フロア	川崎市立看護短期大学 教授 滝島紀子

No.	研修名	研修内容	実施年月日	参加者人数	会場	講師
18	認定看護師による講演	うつ病看護病看護 新人看護師のための心が楽になる精神看護	2017/9/6	36名	7階講堂	うつ病看護認定看護師
19	認定看護師による公開講座	緩和ケア 穏やかな看取りのために	2017/9/7	36名	7階講堂	緩和ケア認定看護師
20	重症度、医療・看護必要度	看護必要度の必要性と評価方法	2017/9/11	180名	7階講堂	看護記録委員 委員長
21	新人実地指導者研修②	新人看護師の成長を促す支援	2017/9/15	18名	フロア	川崎看護短期大学 非常勤講師 植垣一彦
22	新人看護職員研修	院内感染を防止するために	2017/9/22	4月 新採者 37名	7階講堂	感染対策室 教育委員会
23	新人看護職員研修	フィジカルアセスメントの知識・技術を深め、緊急性・重症性の判断力を高める	2017/9/25	37名	フロア	集中ケア認定看護師
24	看護記録研修Ⅱ	看護診断	2017/9/30	27名	フロア	川崎市立看護短期大学 教授 滝島紀子
25	新人看護職員臨床研修	新人看護職員の院内留学	2017/ 10～11	32名	各部署	教育委員会
26	看護記録研修Ⅲ③	看護記録監査	2017/ 10/21	31名	フロア	川崎市立看護短期大学 教授 滝島紀子
27	リーダー役割研修Ⅰ	リーダーとして求められる役割	2017/ 10/23	30名	フロア	東京医療保健大学 准教授 末永由理
28	認定看護師による講演	手術室看護	2017/ 11/1	65名	7階講堂	手術室 看護認定看護師
29	認定看護師による講演	感染管理 ノロウイルス感染症について	2017/ 11/1	46名	7階講堂	感染管理 看護認定看護師
30	リーダー役割研修Ⅲ①	部署の抱える課題の分析	2017/ 11/13	21名	フロア	東京医療保健大学 教授宮本千津子 准教授末永由理
31	担当看護師役割研修	ケアプロセスの理解と退院支援 マネジメント	2017/ 11/20	22名	フロア	川崎病院・井田病院 院長
32	承認コミュニケーション	承認	2017/ 12/9	20名	フロア	(株)JTBコミュニケーション デザイン 伊藤太陽
33	新任リーダー支援研修	日頃のリーダー業務での、不安や疑問を解決する為の糸口がつかめる	2017/ 12/6	21名	7階大会議室	教育委員会

No.	研修名	研修内容	実施年月日	参加者人数	会場	講師
34	臨床実習指導者研修②	実習生の学びを支援する	2017/ 12/11	19名	フロア	川崎市立 看護短期大学 教授滝島紀子
35	重症度、医療・看護必要度	看護必要度の必要性と評価方法	2017/ 12/15	169名	7階 講堂	看護記録委員会
36	認定看護師による講演	集中ケア あなたの病棟にもいるかも！敗血症	2018/1/10	46名	7階 講堂	集中ケア 認定看護師 認定看護師会
37	認定看護師による公開講座	皮膚排泄ケア 高齢者へのスキンケア	2018/1/10	29名	7階 講堂	皮膚・排泄ケア 認定看護師 認定看護師会
38	看護倫理研修	患者の人権と看護職の責任を理解し、倫理的課題への対応について学ぶ	2018/1/17	22名	フロア	聖路加看護大学准 教授 鶴若麻理
39	訪問看護ステーション研修報告会	おおしま・川崎大師・川崎南部訪問看護ステーションでの学びと課題	2018/1/18	40名	7階 講堂	教育委員会 地域医療部
40	看護職員採用時研修	安全管理・災害看護、看護管理(中途採用・臨時職員)	2018/1/22	10名	カンファレンス ルーム	教育委員会
41	受持ち看護職員準備研修	これまでの看護実戦を振り返り担当看護師としての目標を見出す	2018/1/26	35名	フロア	川崎看護短期大学 非常勤講師 植垣 一彦 榎原師長
42	キャリアアップニュース	認定看護師教育課程報告	2018/1/30	80名	7階 講堂	教育委員会
43	リーダーシップ研修②	課題解決のための行動計画に沿って実践し、その内容を評価できる	2018/2/6	34名	フロア	東京医療 保健大学 教授宮本千津子 准教授 末永由理
44	キャリアアップニュース	認定看護師教育課程報告	2018/2/15	80名	7階 講堂	教育委員会
45	新採用者研修	フィジカルアセスメント 能力の向上	2018/2/16	25名	フロア	集中ケア 認定看護師
46	新人実地指導者研修③	新人指導者としての関わりを振り返り、指導者とは何かについて概念化するプロセスの中で今後の課題を明確にできる	2018/2/23	20名	フロア	川崎看護短期大学 非常勤講師 植垣一彦
47	新人実地指導者研修①	新人看護師の特徴とは 新人実地指導者とは	2018/3/3	25名	フロア	川崎看護短期大学 非常勤講師 植垣一彦

No.	研修名	研修内容	実施年月日	参加者人数	会場	講師
48	認定看護師による講演	小児救急看護 子供の虐待	2018/3/7	39名	7階講堂	小児救急 認定看護師 認定看護師会
49	公開講座	うつ病看護 基本から学ぶ せん妄ケア	2018/3/7	34名	7階講堂	精神看護 認定看護師
50	新人看護職員研修	2年目に向けて	2018/3/19	34名	7階講堂	教育委員会
51	新人同期会 (3回)	茶話会形式でゲームや自由に語り合う場とする	2017/6/9 2017/10/28 2018/3/19	38名 35名 34名	7階講堂	副主任会
52	看護必要度研修	重症度、医療・看護必要度の必要性と評価方法を理解する	2017/4～ 2018/3	看護師 助産師	各部署	各部署研修修者

(2) 検査科 院内研修会実施状況

No.	研修会名	研修内容	実施年月日	参加者数	会場	講師
1	検査科勉強会	検査技師が知っておきたい18誘導心電図の有用性	平成29年 5月16日	21名	4階会議室	千葉彩香
2	検査科勉強会	Lamp法について	平成29年 6月13日	14名	4階会議室	工藤美樹
3	検査科勉強会	蛍光抗体法	平成29年 8月8日	20名	4階会議室	原田咲耶
4	検査科勉強会	ABO不適合妊娠による新生児溶血性疾患について	平成29年 10月10日	17名	4階会議室	布川沙也花
5	検査科勉強会	心電図をきれいに記録するために	平成29年 12月12日	14名	4階会議室	小畑千恵
6	検査科勉強会	ノロウイルスによる食中毒について	平成30年 1月16日	15名	4階会議室	佐々木友美
7	検査科勉強会	検査技師がNSTでできること	平成30年 2月13日	17名	4階会議室	廣瀬麻未
8	検査科勉強会	血液製剤の使用指針改訂について	平成30年 3月13日	19名	4階会議室	畠山みり

5 院外看護活動（DMAT 訓練等）

日程	活動名	対象	場所	参加者
5月24日	やまゆり園講演会	DMAT 隊員	済生会東部病院	松本、内海、吉田、 稲葉、松下、古瀬、 塚田
7月20日	多数傷病者対応訓練	川崎 DMAT		榎原、小高、塚田
7月28日・29日	政府訓練	神奈川 DMAT	三重	内海、塚田
8月24日	災害講義		川崎市看護協会	塚田
8月28日	川崎市総合防災訓練	川崎 DMAT	多摩川河川敷	吉田、服部
9月1日	九都県市合同訓練	神奈川 DMAT	厚木・相模方面	松下
10月19日	羽田空港訓練		羽田空港	居戸
10月28日	井田病院災害訓練		井田病院	吉川、榎原、井口
10月29日	ハロウィン警護	川崎 DMAT	川崎駅	佐藤、稲葉
11月10日	扇島訓練		扇島	戸嶋、洲鎌
11月11日	東田公園講演会		東田公園	塚田
12月9日	川崎病院災害訓練		川崎病院	松本、古瀬、内海、 塚田、稲葉、松下
1月13日～14日	DMAT-L 隊員養成（技能維持）	DMAT-L	横浜労災病院	Task：稲葉、塚田 受講：古瀬、服部
1月21日	済生会東部病院訓練	DMAT-L	済生会東部病院	小高、佐藤
1月24日	川崎 DMAT 隊員養成訓練		犬蔵訓練施設	受講：清水、戸嶋、 青木、岡部 Task：内海、稲葉
2月1日～3日	集団災害学会		横浜パシフィコ	奈良、稲葉、塚田
2月10日	関東ブロック訓練	神奈川 DMAT	栃木	内海、奈良
3月4日	川崎区訓練	川崎 DMAT	川崎区	佐藤、清水
3月15日	川崎市消防局訓練	川崎 DMAT	富士通スタジアム	松本、稲葉、青木

6 各科別実習状況報告

科・部	学校・病院名	人数	科・部	学校・病院名	人数
内科・総合内科	秋田大学	2名	精神科	千葉大学	1名
	旭川医科大学	1名		東北大学	1名
	大阪医科大学	1名		弘前大学	1名
	大阪大学	1名	小児科	金沢大学	1名
	岡山大学	1名		杏林大学	1名
	香川大学	1名		慶應義塾大学	3名
	鹿児島大学	1名		札幌医科大学	2名
	金沢医科大学	8名		島根大学	1名
	北里大学	4名		順天堂大学	1名
	京都大学	2名		帝京大学	1名
	近畿大学	1名		東京医科歯科大学	3名
	群馬大学	1名		東京慈恵会医科大学	1名
	慶應義塾大学	15名		日本医科大学	2名
	順天堂大学	2名		弘前大学	1名
	昭和大学	4名		国保日高総合病院	1名
	千葉大学	1名		和歌山県立医科大学	1名
	筑波大学	1名	外科	秋田大学	1名
	昭和大学	1名		旭川医科大学	1名
	東海大学	2名		香川大学	1名
	東京医科歯科大学	1名		慶應義塾大学	3名
	東京慈恵会医科大学	6名		札幌医科大学	1名
	東京大学	2名		昭和大学	1名
	東北大学	1名		千葉大学	1名
	徳島大学	1名		筑波大学	1名
	鳥取大学	1名		東京医科歯科大学	3名
	長崎大学	1名		東京慈恵会医科大学	1名
	名古屋市立大学	1名		東京女子医科大学	1名
	新潟大学	1名		東邦大学	1名
	日本医科大学	1名		東北大学	2名
	杏林大学	1名		日本医科大学	1名
	浜松医科大学	2名		弘前大学	1名
	広島大学	3名		福島県立医科大学	1名
	藤田保健衛生大学	1名		山梨大学	1名
	三重大学	1名	岩手医科大学	2名	
	宮崎大学	1名	福島県立医科大学	1名	
	山梨大学	2名	眼科	岡山大学	1名
	横浜市立大学	1名	脳神経外科	東北大学	1名
	琉球大学	1名		山形大学	1名
	和歌山県立大学	2名		横浜市立大学	1名
	獨協医科大学	1名		滋賀医科大学	1名
	精神科	島根大学	1名	泌尿器科	東京慈恵会医科大学

科・部	学校・病院名	人数
産婦人科	北里大学	1名
	慶應義塾大学	2名
	札幌医科大学	1名
	昭和大学	1名
	東海大学	1名
	東京慈恵会医科大学	1名
	東京女子医学大学	1名
	東北大学	1名
	山梨大学	1名
	長崎大学	2名
	磐田市立総合病院	1名
病理科	千葉大学	1名
麻酔科	慶應義塾大学	3名
	筑波大学	1名
	広島大学	1名
	山形大学	1名
救急科	秋田大学	2名
	旭川医科大学	1名
	香川大学	1名
	鹿児島大学	3名
	金沢大学	3名
	北里大学	2名
	岐阜大学	1名
	九州大学	2名
	京都大学	1名
	慶應義塾大学	6名
	札幌医科大学	6名
	島根大学	2名
	順天堂大学	3名
	昭和大学	1名
	信州大学	2名
	聖マリアンナ医科大学	1名
	千葉大学	2名
	筑波大学	1名
	帝京大学	2名
	東海大学	1名
	東京医科歯科大学	6名
	東京医科大学	2名
	東京慈恵会医科大学	3名
	東京大学	1名

科・部	学校・病院名	人数
整形外科	鹿児島大学	1名
	慶應義塾大学	4名
	高知大学	1名
	札幌医科大学	1名
	聖マリアンナ医科大学	1名
	日本大学	1名
	三重大学	1名
	横浜市立大学	1名
	山口大学	1名
救急科	東邦大学	3名
	徳島大学	2名
	富山大学	1名
	新潟大学	2名
	日本医科大学	1名
	浜松医科大学	1名
	弘前大学	1名
	広島大学	1名
	福岡大学	1名
	宮崎大学	3名
	山形大学	2名
横浜市立大学	2名	
琉球大学	4名	

7 講師派遣実施状況

(1) 看護師

氏名	派遣場所	担当科目	期間
柳井田 恭子	川崎市キャリア開発センター	フットケア研修	6月4日、6月5日
柳井田 恭子	神奈川県立保健福祉大学	成人看護学（慢性期）Ⅱ	6月28日、7月5日、7月12日
柳井田 恭子	神奈川県看護協会	実地指導者研修～共に支え合う新人教育～	9月29日
加藤 理賀子	川崎市キャリア開発センター	フットケア研修	6月4日、6月5日
加藤 理賀子	日本下肢救済・足病変学会	日本下肢救済・足病変学会座長	5月28日
加藤 理賀子	社会福祉協議会	福祉看護職のための出張講座 「高齢者のフットケア」	10月7日
加藤 理賀子	神奈川県糖尿病療養指導研究会	研究会企画運営スタッフおよび司会	平成29年1月29日
高橋 一子	川崎市キャリア開発センター	フットケア研修	6月4日、6月5日
高橋 一子	社会福祉協議会	福祉看護職のための出張講座 「高齢者のフットケア」	10月7日
高橋 一子	日本糖尿病協会	「糖尿病ウォークラリー」における 青空教室	10月23日
吉崎 弘之	医師会附属准看護学校	精神看護	4月18日～6月27日（11回）
吉崎 弘之	日本精神科看護協会	日本精神科看護学会集會：座長	6月11日
大山 美和子	日本離床研究会	「血液生化学データの読み方」 「体水分にまつわる臨床判断の仕方」	5月21日・8月20日
大山 美和子	病院局：フロラシオン新川崎	フィジカルアセスメント研修	平成29年2月20日
大川 順子	病院局：フロラシオン新川崎	「新人のためのフィジカルアセスメント研 修」 急性期におけるフィジカルアセスメント研 修	9月20日
牛込 志乃	ホリスター社	「WOCと共に考えるストマケア」講師	5月14日
牛込 志乃	社会福祉協議会	福祉看護職のための出張講座 「皮膚トラブルに対しての最新看護ケアと 施設での対応」	10月28日
久野 昭子	川崎市立看護短期大学	「成人看護Ⅴ」講師	9月23日
久野 昭子	日本手術看護学会	「周術期における看護記録/鏡視下手術にお ける看護」	平成29年2月18日
佐藤 江利子	川崎看護専門学校	ストマを持つ患者の看護	12月6日
佐藤 江利子	社会福祉協議会	福祉看護職のために出張講座	平成29年3月3日
達 かおり	川崎看護専門学校	クリティカルケア	11月9日・16日
高畑 良子	(株)ノボノルディスク ファーマ	認知症と糖尿病に関する講演	5月12日
高畑 良子	社会福祉協議会	認知症看護	6月15日
高畑 良子	川崎市立看護短期大学	認知症のある高齢者とのコミュニケーション	6月21日
高畑 良子	健康福祉局地域包括ケア	看護職員認知症対応力向上研修の講師を担 う看護師の伝達講習会	6月28日
高畑 良子	神奈川県病院協会：横浜 中央看護専門学校	看護職員認知症対応力向上研修	8月29日
高畑 良子	神奈川県病院協会：キャリア 支援研修センター藤沢	看護職員認知症対応力向上研修	8月30日
高畑 良子	社会福祉協議会	川崎市福祉人材バンク	9月23日
高畑 良子	関東労災病院	認知症ケア	
高畑 良子	(株)ロシュ・ダイアグノ スティックス	認知症のある糖尿病患者さんどうしていま すか	10月29日
高畑 良子	川崎市看護協会	新人看護職員研修「認知症看護」	11月9日
高畑 良子	川崎市看護協会	認知症看護に必要な専門的知識技術を有す る看護師を養成する	12月1日
高畑 良子	川崎市キャリア開発センター 川崎病院	認知症患者ケア実践力向上研修	平成29年3月11日
久野 昭子	日本手術看護学会	日本手術看護学会実行役員	6月18日

氏名	派遣場所	担当科目	期間
久野 昭子	川崎市立看護短期大学	「成人看護方法Ⅴ」 (周手術期にある人の看護)	9月23日
久野 昭子	日本手術看護学会	教育セミナー「周術期における看護記録/ 鏡視下手術における看護」	平成29年2月18日
森田 純子	社会福祉協議会	福祉看護職のための出張講座 「感染症対策」	9月23日
小澤 康子	社会福祉協議会	福祉看護職のための出張講座 「緊急時の対応」	9月27日
須貝 美帆	川崎市立看護短期大学	テーマ別看護論 (家族看護論)	9月6日
須貝 美帆	川崎市立看護短期大学	テーマ別看護論 (家族看護論)	平成29年1月24日
古瀬 美穂	社会福祉協議会	誤嚥性肺炎を防ぐコツ	12月2日
古瀬 美穂	日本摂食・嚥下障害研究会	研究会関東支部会 座長	平成29年1月14日
臼田 美奈子	こども未来局子育て推進部	医療的ケア研修「病気がもたらす障害と在宅医療の実際」	平成29年2月20日
森 亜沙美	日本脳神経看護研究学会	ニューロサイエンス看護学会学術大会 司会・進行	平成29年1月21日
森 亜沙美	目白大学メディカルスタッフ研修センター	実践報告会	平成29年2月24日
飯塚 千代	川崎市看護協会	新人指導者研修	5月26日、9月30日、 平成29年1月19日
楳原 弘成	川崎市立看護短期大学	看護管理	7月19日
楳原 弘成	病院局：フロンティア新川崎	担当看護師役割研修	11月22日
大和田 恵美	医師会附属准看護学校	臨床看護概論：手術室看護	4月12日～17日 (5回)
塚田 千代	医師会附属准看護学校	臨床看護概論：救急看護	8月30日～10月11日 (5回)
田島 深雪	医師会附属准看護学校	成人看護各論 血液造血器アレルギー、膠原病、感染症、 結核	4月11日～5月9日 (5回)
野村 貴子	医師会附属准看護学校	成人看護各論：女性生殖器看護	8月29日～9月26日 (4回)
荻野 飛鳥	医師会附属准看護学校	成人看護各論：腎疾患看護	10月11日～25日 (3回)
渡邊 いづみ	医師会附属准看護学校	成人看護各論：泌尿器疾患看護	11月8日
渡邊 いづみ	医師会附属准看護学校	成人看護各論：感覚器看護 (眼科)	7月5日
奥田 裕美	医師会附属准看護学校	成人看護各論：運動器看護	5月24日～6月7日 (3回)
鈴木 由美	医師会附属准看護学校	成人看護各論：感覚器看護 (口・耳)	6月14日～28日 (3回)
西森 春江	医師会附属准看護学校	授業講師	4月11日
小海 照美	川崎市立看護専門学校	医療安全	11月2日
武田 玲子	慶応義塾大学大学院健康 マネジメント研究科	医療政策・管理学	12月12日 (月)
松澤 由香	川崎看護専門学校	糖尿病看護	12月8日・12月16日
塚田 千代	川崎市看護協会	災害看護	8月17日
塚田 千代	川崎市立看護短期大学	DMAT	10月9日
吉崎 弘之	川崎市キャリア開発センター 川崎病院	認知症患者ケア実践力向上研修	平成29年3月4日

(2) 医師

派遣場所	川崎市立看護短期大学			学年学期	2年次 前期・後期
科目名	病態治療学Ⅲ・Ⅳ	単位数	各1単位(必修)	科目区分	人間と健康
担当者	市東昌也 夏 錦言 倉田忠宜 今西智之 澤藤 誠 中道憲明 齋藤 豊 堀内直樹 佐藤陽一郎 宮川俊一 原 智(担当順)				

「授業概要」

病態治療学Ⅲ・Ⅳでは、手術療法と血管塞栓術などの手術に準ずる治療、麻酔、救急・集中治療について教授します。それぞれの治療目的と適応、効果、治癒による生体への侵襲と回復過程について概説し、さらに具体的な治療方法や関連する検査・援助について代表的な状態や疾患を引用して解説します。

小児科は内科と重複する疾患が多いですが、年齢によって疾患の傾向が違います。それは、患者さんが成長していくからです。この講義の目的は、そのような特殊性を加味して、小児疾患を理解することにあります。

生殖器・特殊感覚器疾患については、手術療法と血管塞栓術など手術に準ずる治療、麻酔、救急・集中治療について教授します。それぞれの治療目的と適応、効果、治療による生体への侵襲と回復過程について概説し、さらに具体的な治療方法や関連する検査・援助について代表的な状態や疾患を引用して解説します。

「授業計画」

病態治療学Ⅲ	病態治療学Ⅳ
1 手術学総論 適応	1 小児1：総論
2 手術学総論 術前検査	2 小児2：新生児
3 手術学総論 術後管理	3 小児3：乳児
4 内視鏡下手術 総論	4 小児4：幼児
5 内視鏡下手術 各論	5 小児5：学童、思春期
6 I V R	6 産科手術
7 手術学各論 脳神経外科	7 婦人科手術
8 外科	8 産科正常編
9 呼吸器外科	9 産科異常編
10 整形外科	10 眼科
11 心臓外科	11 耳鼻咽喉科
12 救急	12 皮膚科
13 麻酔	13 泌尿器科
14 心肺蘇生	14 まとめ1
15 まとめ	15 まとめ2

VI 臨床研修概要

1 経緯

(1) 病院の沿革・特徴

昭和2年、伝染病組合病院が川崎市立病院に改称、昭和11年、大規模改築、昭和20年6月1日に総合病院となり、その後建物、設備、診療科の増設を逐次行い、市民の医療の中核を担う病院に発展してきました。

昭和40年、救急指定病院となり、昭和42年には研修医制度が発足しました。それ以降、各学会の指定医の研修施設に指定され、昭和63年には、外国人医師等を対象とした臨床修練指定病院となりました。

また、平成10年4月から総合診療科を設置したことに伴い、新たに後期臨床研修も実施しています。

なお、平成7年から全面改築を進めてきましたが、平成10年11月病棟・中央診療棟が完成し、そして平成12年4月、新外来棟がオープンしたことにより、当院を取り巻く医療環境は、大幅に改善されたばかりでなく、導入された総合医療情報システムや搬送システムが完全に稼働し、機能面でも一段とアップしました。

(2) 初期臨床研修

当院の臨床研修制度は、昭和42年4月に発足し、既に41年が経過しています。最初の10年間は研修期間4年のレジデント制度として行われ、昭和52年からは2年間の臨床研修制度となりました。

また、当初の12年間は学制と同じく4月に始まり、3月に終わる制度でありましたが、研修医内定者のうち医師国家試験に不合格となるものがあり、厚生省の指導や欠員を配慮して昭和54年からは6月開始・5月修了に改められました。そして、平成5年に至り医師国家試験の期日が3月に変更されたことに伴い、5月開始・4月修了という新たな制度に生まれ変わりました。

昭和50年度までは単一専門科か専門科と関連する他の1から2科を研修するのみでしたが、昭和51年度からは専門科に重点を置きながらも、広く各科を研修するローテイト方式を採用してきました。

これは平成16年度から実施された卒後臨床研修制度を先取りしていたものであったといえます。

平成16年5月からは新たな卒後臨床研修制度義務化に伴って、単独型臨床研修病院として初期研修医各学年10名を受け入れ、更に川崎市立井田病院に対する協力型病院として井田病院の臨床研修医（当院ローテイトは卒後2年目）を指導しています。

平成22年12月1日に卒後臨床研修評価機構の認定を受けました。

新制度実施後、多数の医学生から応募があるのは、当院がこれまで取り組んできた臨床研修制度が高く評価されたものと自負しつつも更に医療安全管理・倫理面も含めた教育内容を拡充し、優れた臨床医の育成を図りたいと考えています。

ア 臨床研修医年度別 採用者数

年 度	応 募 者	採 用	修 了	備 考
昭和44	5	3		
45	14	7	3	
46	19	4	2	
47	18	6	8	
48	17	8	4	
49	24	6	3	
50	39	10	7	
51	37	5	5	3年制→2年制度へ移行
52	26	8	5	
53	23	10	11	
54	42	10	11	
55	17	10		
56	12	3	9	
57	9	5	8	
58	4	3	2	
59	11	5	5	
60	11	1	11	
61	9	5	1	
62	6	2		
63	8	2	4	
平成元	12	8	2	
2	9	6	1	
3	9	7	6	
4	13	10	6	
5	12	7	5	
6	10	9	8	
7	11	11	6	
8	21	10	7	
9	13	6	8	
10	12	9	10	
11	16	9	4	
12	16	11	5	
13	14	10	8	
14	11	10	8	
15	8	7	7	
16	84	10	6	
17	126	9	4	
18	83	9	9	
19	103	10	9	
20	83	9	9	
21	62	10	9	
22	67	10	10	
23	79	10	10	
24	96	10	10	
25	77	10	10	
26	51	10	10	
27	73	9	10	
28	88	10	9	
29	74	10	10	
計	1684名	379名	315名	

イ 専攻医年度別 採用者数

年 度	応募者数	採 用	備 考
13	13	12	
14	8	8	
15	10	10	
16	13	10	
17	11	11	
18	13	12	
19	27	25	
20	44	36	
21	38	34	
22	32	29	
23	34	27	
24	38	34	
25	31	30	
26	40	40	
27	46	45	
28	38	37	
29	37	37	

ウ 臨床研修医出身校別採用者数

国・公立大学

私立大学等

(平成29年4月1日現在)

出身校	年度	25	26	27	28	29	計	出身校	年度	25	26	27	28	29	計
	昭和42~ 平成23								昭和42~ 平成23						
北海道大	4		1				5	岩手医大	2						2
札幌医科大	1						1	自治医大	7						7
旭川医科大	1						1	埼玉医大	3						3
弘前医科大	5						5	日本医大	4						4
秋田医科大	7						7	日本医大	2	1					3
山形医科大	2						2	順天堂大	3						3
東北医大	2	1				1	4	慶應義塾大	75	5	6	3	5	4	98
福島県医大	1						1	慶應義塾大	8						8
群馬大	3			1			4	東京女子医大	8						8
筑波大	2			1	1	1	5	慈恵医科大	28						28
千葉大	13		1			1	15	昭和医大	6	1		1			8
東京医科歯科大	4	1	1			1	5	東邦大	15						15
横浜市立大	3						3	杏林大	7						7
山梨大	1						1	聖マリアンナ大	14					1	15
新潟大	3	1					4	北里大	6			1			7
富山大	2						2	東海大	13						13
福井大	2				1		2	帝京大	1					1	2
浜松医科大	4						4	藤田保健大	10						10
岐阜大	2						2	愛知医科大	2						2
名古屋大	2						2	関西医科大	3						3
名古屋大	3						3	大阪医科大	2						2
三重大	3						3	兵庫医科大	1						1
奈良県立大	1						1	川崎医科大	2						2
京都府医大	1						1	産業医科大	5						5
神戸大	3						3	久留米大	2						2
岡山大	2						2	金沢医大	2						2
島根大	1						1	その他(海外等)	2						2
山口大	2						2								0
徳島大	2						2								0
香川大	1						1								0
長崎大	4				1		5								0
佐賀大	1						1								0
熊本大	2						2								0
鹿児島大	1						1								0
琉球大	2						2								0
大阪大	0		1				1								0
高知大	0			2			2								0
滋賀医科大	0				1		1								0
計	94	3	4	4	5	4	114	計	233	7	6	5	5	6	262

エ 初期臨床研修修了者（平成28年度生）

修了年月日	氏名	出身校
平成30年3月31日	鈴木友博	慶應義塾大学
平成30年3月31日	田中李樹	東京大学
平成30年3月31日	中川原賢亮	慶應義塾大学
平成30年3月31日	中村美紀	慶應義塾大学
平成30年3月31日	中村有吾	筑波大学
平成30年3月31日	西川賢	慶應義塾大学
平成30年3月31日	原碧	長崎大学
平成30年3月31日	藤田野々香	福井大学
平成30年3月31日	細尾真奈美	滋賀医科大学
平成30年3月31日	山下友寛	慶應義塾大学

<2年以上研修を受けた専攻医>（※ 1年6か月以上2年未満の者を含む。）

- ・城谷 翔太 ・上妻 嵩英 ・進藤 淳也 ・矢島 祥助 ・江原 和美 ・鎌田 龍明
- ・津軽 開 ・脇坂 悠介 ・島貫 茉莉江 ・永岡 未来 ・土屋 光正 ・安東 一樹
- ・明神 聡介 ・石渡 博昭 ・白川 和宏 ・宮嶌 和宏 ・長田 真二

<1年間研修を受けた専攻医>（※ 6か月以上1年未満及び1年6か月未満の者を含む。）

- ・堀内 康平 ・森岡 紘子 ・内 孝文 ・李 昊 ・鈴木 昂名 ・疋田 康祐
- ・村田 哲 ・大石 裕美子 ・奥島 久貴 ・釧持 奈緒美 ・玉岡 哲 ・玉川 真澄
- ・梅田 浩太 ・阿部 彩由美 ・東條 嶺 ・倉持 信 ・手塚 朋子 ・石倉 佳代子
- ・道振 康平

オ 在籍する臨床研修医（平成30年4月1日現在）

2年次生（平成29年度生）		1年次生（平成30年度生）	
氏名	出身校	氏名	出身校
今本 多計臣	聖マリアンナ医科大学	石原 啓成	慶應義塾大学
内田 絢子	慶應義塾大学	児玉 充輝	慶應義塾大学
及川 紗由香	千葉大学	佐久間 萌子	慶應義塾大学
加藤 恭介	慶應義塾大学	島 優作	慶應義塾大学
佐藤 慎吾	東京大学	曾賀野 純希	慶應義塾大学
佐柳 太一	慶應義塾大学	園田 啓太	慶應義塾大学
田中 邦生	東北大学	東川 康嗣	慶應義塾大学
田中 優衣	慶應義塾大学	西元 ゆい	東邦大学
松山 遼太郎	帝京大学	松井 友哉	慶應義塾大学
森田 すみれ	筑波大学	山根 聖弘	東京医科歯科大学

カ 在籍する専攻医(平成30年6月1日現在)

4年次生以上			3年次生		
志望科	氏名	出身校	志望科	氏名	出身校
内 科	花田 亮太	昭和大学	内 科	阿瀬川 周平	慶應義塾大学
内 科	松原 祥平	杏林大学	内 科	石垣 星	東邦大学
内 科	相馬 裕樹	名古屋市立大学	内 科	大草 翔平	昭和大学
内 科	永田 亮平	新潟大学	内 科	島田 史恵	東京女子医科大学
内 科	野口 二三枝	山形大学	内 科	臼井 耕太郎	北里大学
内 科	篠崎 太郎	慶應義塾大学	内 科	岩瀬 諒子	北里大学
内 科	野間 絵梨子	北里大学	内 科	杉山 耀一	名古屋市立大学
内 科	森田 篤帆	慶應義塾大学	内 科	安部 恭嗣	信州大学
内 科	金山 芳郎	北里大学	外 科	前田 智早	慶應義塾大学
内 科	高倉 悠人	金沢医科大学	形 成 外 科	菊地 陽	大分大学
内 科	上園 志穂	東邦大学	小 児 科	高橋 哲朗	慶應義塾大学
内 科	阪口 楓	北里大学	産 科	王 洪欣	東北大学
内 科	永田 真夕	浜松医科大学	麻 酔 科	山下 友寛	慶應義塾大学
内 科	岩崎 恵美	奈良県立医科大学	麻 酔 科	杉山 侑子	埼玉医科大学
外 科	塩味 慶子	北里大学	救 急 科	藤田 野々香	福井大学
外 科	郡司 崇裕	東京医科大学	救 急 科	佐々木 洋介	Semmelweis University
外 科	金本 徳之	帝京大学			
整 形 外 科	辻阪 亮介	慶應義塾大学			
整 形 外 科	西條 裕介	杏林大学			
精 神 科	菊地 悠平	日本医科大学			
小 児 科	西 恵美里	久留米大学			
新 生 児 内 科	宮武 瑛里	東京女子医科大学			
泌 尿 器 科	木下 水葵	千葉大学			
泌 尿 器 科	小澤 佑	筑波大学			
皮 膚 科	倉地 祐之眞	慶應義塾大学			
婦 人 科	眞木 順子	日本医科大学			
婦 人 科	吉村 拓馬	慶應義塾大学			
耳 鼻 咽 喉 科	松居 祐樹	慶應義塾大学			
耳 鼻 咽 喉 科	井口 聖名	慶應義塾大学			
麻 酔 科	青木 真理子	慶應義塾大学			
麻 酔 科	平川 雄亮	東京大学			
麻 酔 科	北嶋 宏輝	横浜市立大学			
歯 科 口 腔 外 科	木村 萌美	北海道大学			
検 査 科	堀井 千裕	東海大学			
救 急 科	鳥海 聡	杏林大学			
救 急 科	金子 翔太郎	順天堂大学			
救 急 科	井上 聡	大分大学			
救 急 科	藤網 隆太郎	香川大学			

2 初期臨床研修医プログラム

(1) 名 称

川崎市立川崎病院初期臨床研修プログラム

(2) 目的と特徴

当院の研修医制度は、昭和42年4月に発足し、その後教育指導部を設置して既に40年以上が経ちますが、この間多数の研修修了者を送り出してきました。その後、幾度かの変遷を経て、現在では、毎年4月1日に研修開始して、2年後の3月31日に修了する方式を採っています。

ローテイトに当たっては、研修医と十分話し合いを持ち、それぞれに最も適した個別カリキュラムを組んで、限られた期間に充実した研修成果が上がるよう努めています。

また、各科の基礎的診断治療のための技能の習得のみならず、“病気を診るのではなく、悩める病人を診る”という、診療態度の修得やプライマリ・ケアを重視した研修を行っています。

医学の進歩に伴い、医療の専門分化・高度化により各臓器疾患の専門医は増加し、これまで治療困難とされた疾患が克服できるようになりました。それに反して患者を全人的に診療できる医師（General Physician）は少なく、“病気のみを診るのではなく悩める病人を診る”ことのできるGeneral Physicianの養成が社会的に求められています。また、本当の意味での専門医はGeneral Physicianとしての素養を身につけた上で、自分の専門分野を追及していくべきと考えます。

そこで当院では、“臓器別専門医である前に、患者全体を診て適切な診療を行う”を基本方針の基に、臨床医としての基礎的臨床能力を養成することを主たる目標にしました。

(3) 指導者と研修施設

ア 指導者と研修プログラム責任者

研修管理委員会委員長 小宮 浩一郎

イ 研修施設

診療各科及び検査科の施設、研究室、会議室

ウ 指導医リスト [医師免許取得後7年以上] (平成30年6月1日現在)

内科	大曾根 康夫 野崎 博之 玉井 博修 津村 和太 高橋 賢至 井上 健太郎 北薊 久雄 久武 祐太	岡野 裕 末吉 浩一郎 伯野 大彦 田口 博章 高田 昌幸 室田 敦子 葉末 亮	有馬 功一郎 坂本 光男 高木 英恵 有泉 健 田中 希宇人 扇野 圭子 布施 彰久	佐山 宏一 西澤 健也 李 慧崇 大森 奈緒 深江 智明 細田 智弘 川合 聡史
精神科	齋藤 寿昭	鹿島 美納子	三浦 孝政	
小児科	土橋 隆俊 外山 陽子	有安 大典 本田 堯	檜林 敦 多喜 萌	松尾 基視 長田 枝利香
新生児内科	森 和広	古川 律子	梶原 久美子	坂井 みのり

	金子 絵名			
外科	市東 昌也 和多田 晋 菊池 勇次	相浦 浩一 三原 規奨	夏 錦言 高橋 秀奈	萬谷 京子 近藤 崇之
呼吸器外科	澤藤 誠	成毛 聖夫	井澤 菜緒子	
脳神経外科	今西 智之 植田 良	小野塚 聡	片山 真	三島 牧
整形外科	小柳 貴裕 西脇 正夫 畑 亮輔	上田 誠司 山口 健治	中道 憲明 畑 亮輔	小宮 浩一郎 久島 雄宇
形成外科	畑野 麻子			
心臓血管外科	蜂谷 貴			
皮膚科	宮川 俊一	渡邊 絵美子		
泌尿器科	原 智	前田 高宏	服部 盛也	勝井 政博
産婦人科	中田 さくら 春日 義史	染谷 健一 鈴木 毅	樋口 隆幸 大橋 千恵	金 善恵
眼科	堀内 直樹			
耳鼻咽喉科	今西 順久	佐藤 陽一郎		
放射線診断科	成松 芳明 緒方 雄史	倉田 忠宜	長谷川 市郎	佐藤 宏朗
放射線治療科	栗林 徹	舟越 和人		
麻酔科	森田 慶久 細井 卓司	逢坂 佳宗 平畑 枝里子	安藤 嘉門 中山 和貴	阪本 浩平
救急科	田熊 清継 竹村 成秀 三吉 貴大	齋藤 豊 春成 学	塩島 裕樹 金尾 邦生	進藤 健 植松 敬子
リハビリテーション科	阿部 玲音	杉山 瑤		
歯科口腔外科	鬼澤 勝弘	安居 孝純		
検査科	杉浦 仁	折笠 英紀		

エ 専門医（認定医）教育病院等学会の指定状況

日本内科学会認定医制度教育病院	日本リウマチ学会認定教育施設
日本内分泌学会内分泌代謝科専門医制度認定教育施設	日本感染症学会認定研修施設
日本アレルギー学会認定アレルギー専門医教育研修施設	日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設	日本呼吸器学会認定施設
日本小児科学会小児科専門医研修施設	日本小児科学会小児科専門医研修支援施設

日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設	日本認知症学会認定教育施設
日本神経学会専門医制度准教育施設	日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本消化器外科学会専門医修練施設	日本消化器病学会専門医制度認定施設
日本消化器内視鏡学会認定指導施設	日本胆道学会認定指導施設
日本呼吸器外科専門医合同委員会認定修練基幹施設	日本脳卒中学会専門医認定研修教育病院
日本胸部外科学会認定医認定制度指定施設関連病院	三学会構成心臓血管外科専門医認定機構認定関連施設
日本皮膚科学会認定専門医研修施設	日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設	日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
日本麻酔科学会麻酔科認定病院	日本集中治療医学会専門医研修施設
日本整形外科学会認定医制度研修施設	日本整形外科学会専門医制度研修施設
日本手外科学会認定研修施設	日本形成外科学会認定教育関連施設
日本眼科学会専門医制度研修施設	日本核医学会専門医教育病院
日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関	日本放射線腫瘍学会認定協力施設
日本 IVR 学会専門医修練施設	日本リハビリテーション医学会認定研修施設
日本口腔外科学会関連研修施設	日本臨床細胞学会認定施設
日本病理学会研修認定施設 B	日本救急医学会救急科専門医指定施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設	日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設
日本脈管学会認定研修指定施設	日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設	胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設
日本頭頸部外科学会準認定施設	日本食道学会全国登録認定施設
日本消化管学会胃腸科指導施設	日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ検診施設
日本周産期・新生児医学会専門医制度暫定認定施設	日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
日本肝胆膵外科学会高度技能専門医制度認定修練施設	日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設認定証
神奈川県医師会母体保護法指定医師指定研修機関認定証	浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
日本糖尿病学会教育関連施設	日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医研修施設
日本超音波医学会超音波専門医研修施設	

オ 指導体制

各科とも原則としてマンツーマン方式を取れ入れています。

(4) プログラム委員会

本院には、研修管理委員会が設置されており、その委員がプログラム委員を兼務します。

(5) プログラム管理体制

ア 研修管理委員会の組織・機能

(ア) 委員長：小宮 浩一郎 研修管理委員会委員長

(イ) 構成：委員は各研修カリキュラムの責任者、院長、事務局長、副院長、庶務課長、研修協力施設の研修実施責任者（指導医等）、外部委員（医師等）

(ウ) 業 務

a 研修プログラムの全体的な調整・管理

（研修プログラム作成方針の決定や、各研修カリキュラム間の相互調整など）

b 研修医の全体的な管理

（研修医の募集、他施設への出向、研修医の処遇、研修医の健康管理）

c 研修医の研修状況の評価

（研修目標の達成状況の評価、臨床研修修了の評価）

d 採用時における研修希望者の評価

e 指導医の評価と記録

f 研修後の進路について、相談等の支援を行う

g 院内カンファレンス、研修資料と教育機材の管理、指導医研修

イ 研修医の勤務規定、顕彰・処罰規定及び採用方法

研修医の勤務規定、顕彰・処罰規定及び採用方法は別途定める要綱によります。研修医は、毎年公募により採用されます。

ウ 研修プログラムの自己評価と改善体制

研修管理委員会では、研修医の研修成果や研修医・指導医の意見を踏まえ、常に研修プログラム自体の評価を行い、修正可能な点は速やかに修正します。また、大きなシステム上の問題は、関係各所と協議の上、適宜改善を行います。

エ 研修医からのフィードバック

研修医は、研修実行委員と定期的に面接を行い、研修プログラムや指導医に対する意見を述べることができます。臨床研修委員会は、できるだけ研修医の要望を実現できるように配慮します。

オ 研修の継続が困難な研修医に対する処置

身体的・社会的・経済的理由などにより、研修継続が困難な状態に陥った場合は、臨床研修委員会及び研修責任者は、研修医個人の処遇を勘案し、適切な対応を行うものとします。

(6) 卒後臨床研修・ローテイトについて

ア 期間割り研修医予定配置

1年次の最初の月（4月）は、全員が救急科で研修を行います。厚生労働省の定める内科6箇月、救急科3箇月、地域医療1箇月を必修科目として計10箇月間研修します。選択必修は5科（外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科）の中から2科を選択し、選択科（内科、外科、

救急科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科、整形外科、形成外科、放射線科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、脳神経外科、心臓血管外科、リハビリテーション科、検査（病理）科、の中から選択）と合わせて計14箇月の研修を行います。

選択科目の研修期間は、プログラムの特性を配慮し、最低1箇月とします。

選択科目の研修に当たっては、研修医が各研修カリキュラムを選択し、積極的に研修に取り組み、充実した研修ができるように留意します。

(7) 研修医定員及び処遇

研 修 医 定 員	: 1年次10名、2年次10名
募 集 及 び 採 用 方 法	: 公募、小論文、集団面接及び集団討論にて選考、マッチングに参加
資 格	: 平成29年度に日本で有効な医師免許を取得見込みの者
処 遇	: 川崎市非常勤嘱託職員 地方公務員法（以下「地公法」という。）第30条及び第32条から第35条を、遵守する義務を負う。
待 遇	: 給与月額 364,100円 健康保険・厚生年金・雇用保険・労働災害補償あり レジデントハウス（単身者用）あり 病院個室なし、個人の机及びロッカー有り 定期健康診断年1回 医師賠償責任保険は病院として加入 学会及び研究会への参加は研修に支障のない範囲で可。ただし、公費負担なし。
勤 務 時 間	: 1週5日（月～金曜日） 月～金曜日：8時30分～17時まで 時間外勤務なし 研修以外の診療活動は認めない（地公法第38条の改正による） 当直は配属科により変わるが、内科の場合に平日当直2日、休日当直1日が目安である。
年 次 有 給 暇 等	: 1年目10日、2年目11日付与 夏期休暇5日（6月1日～10月31日までの間に取得）

(8) 研修修了認定基準

臨床研修医に関する要綱中、第10条の修了証書の授与に際しては、次の基準によるものとします。

ア 各研修医は、厚生労働省の指定した初期臨床研修到達目標の自己評価表に基づき、自己採点を行い、研修責任者に提出する。

イ 研修責任者は、研修管理委員会を開催し、ローテイトした科の指導責任者の採点によるレジデント評価表と研修医が採点した自己評価表を併せて審査し、その結果を院長に報告する。

ウ 院長は、報告に基づき研修が修了したと認定された研修医に対して、修了証書を授与する。

VII 業 績 目 録

科 別 業

科目	年度	科 別												
		内科・総合診療科	精神科	小児科	新生児内科	外科	呼吸器外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	心臓血管外科	皮膚科	泌尿器科	産科・婦人科
学位取得	25					1								
	26									1				1
	27													
	28													
	29													
賞	25													
	26	1												
	27													
	28								2				1	1
	29													
研究助成 共同研究	25	1						1						
	26	2						1					1	
	27		1					1					1	
	28							1						
	29							1						
書籍	25	4		11		1			1					
	26	1		1		2			1					5
	27						4		10					1
	28		1						3					
	29								1					
論文	25	10		2		8	2	2	20	2	6	1	2	
	26	18		9		5	3	1	20		1	7	4	11
	27	9		9	1	5	1		19	1		1	4	4
	28	19		16		2	1		18	1		2	2	2
	29	14		1					14		2	3	8	7
学会 研究会	25	45	3	18	2	30	5	2	34	1		7	4	
	26	54	5	13	1	21	2	2	67	2	1	5	6	34
	27	20	3	18	7	21	4	3	60	1	1	5	2	9
	28	17		13	4	17		2	51	3		4	2	10
	29	17		18	5	15	2	1	18	1		1	6	25
その他	25	7	2	1										
	26	4	5	10				1	8				2	
	27			4	2	1			4		1		1	
	28		3			6		1	15				2	
	29		1	6	2	5		2	6	1			4	1

※ 平成25年度から業績目録の様式を変更。

※ 「新生児内科」「形成外科」は平成25年度から計上。「放射線診断科」「放射線治療科」は平成25年度から分離。「医療安全管理室」は平成26年度から計上。

※ 平成26年度から「学会」と「研究会」を統合。

※ 「書籍」は「著書」と「書籍の章」の合算。「その他」には「講演会等」を含む。

績 統 計

眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	放 射 線 治 療 科	放 射 線 診 断 科	麻 酔 科	救 急 科	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	歯 科 口 腔 外 科	検 査 科	薬 劑 部	看 護 部	医 療 安 全 管 理 室	地 域 医 療 部	感 染 対 策 室	食 養 科	合 計
1				2	1		1								1 3 2 2 0
2			1				1	1	1	4 4 1 2 4					4 6 3 9 4
1 1 4	1 1				1		1 1 1 1 1								3 6 5 4 7
	1 1		1	5 1 1	15	2 1	3 1 1		1 1				1 1		35 16 23 9 3
1 3 1 3	2 3 4 7	4	2 3	7 4 4 8	19 3 11 3 5		6 9 2 2	1 6 3 3	4 2 3 1	4 2 3 5					94 97 97 79 86
3 3 1 6	12 16 21 23 22	25 4 2	4 5 7 6	18 13 8 6 15	33 34 36 21 15	2 5 5 1	2 14 6 3 2	9 8 6 3 6	3 4 8 4 5	7 9 9 10			1 1	4 5 1 1	269 327 256 201 196
1 1 5	5 1 3	1	3 2	2 9 8	5 17 5 1 7	3 14 1	5 10 17 18 17	16 3 2	15 7 12	3 1 25	10 25	11	1 10	5 7 6 4	23 120 101 121 66

1 当院における学位取得者

2 賞

(1) 看護部

小林信子. 川崎市病院協会優良職員表彰. 平成 29 年 6 月.
増村美津子. 川崎市病院協会優良職員表彰. 平成 29 年 6 月.
小林信子. 神奈川県看護協会会長表彰. 平成 29 年 6 月.
綱嶋たかえ. 神奈川県保健衛生知事表彰. 平成 29 年 12 月.

3 研究助成及び共同研究

(1) 脳神経外科

植田良. 文部科学省科学研究費 基盤研究 (C). 悪性神経膠腫および腫瘍新生血管に対する複合的ペプチドワクチン療法の評価法開発

(2) 眼科

富田洋平. 興和生命科学振興財団研究助成.
富田洋平. 2017 年度科学研究費若手 B.
富田洋平. 日本アイバンク協会海外研究助成.
富田洋平. 鈴木万平財団海外研究留学助成.

(3) 耳鼻咽喉科

今西順久. 文科省科学研究費 基盤研究 (C). 癌幹細胞維持機構と EMT(上皮間葉転換)を同時標的とする頭頸部癌転移治療の研究 (16K11245)

(4) 歯科口腔外科

安居孝純 (研究代表者), 中川種昭, 森川暁, 馬淵洋. 平成 28 年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金 基盤研究 C) 研究課題名: 高純度歯髄幹細胞の顎骨壊死治療への応用 補助事業期間: 平成 28 年度~平成 31 年度.

4 書籍の章

(1) 整形外科

堀内行雄. II 基本的な手術手技 末梢神経の手術 神経移行術. 整形外科手術イラストレイテッド 基本手術手技. 戸山芳昭. 東京, 中山書店, 2017; 第 1 版, p. 75-82.

(2) 放射線診断科

佐藤宏朗. 先天性副腎過形成. すぐわかる小児画像診断. 第 2 版. 荒木力・原裕子・野坂俊介. 東京, 学研メディカル秀潤社, 2017; p. 496-497.

(3) 麻酔科

逢坂佳宗. Q34 腕神経叢ブロックにおける麻酔薬の使用量について教えてください. 末梢神経ブロックの疑問 Q&A. 上嶋浩順. 東京, (株)中外医学社, 2017; 第 1 版, p. 103-105.
逢坂佳宗. Q35 腕神経叢ブロックに神経刺激装置は必要ですか?. 末梢神経ブロックの疑問 Q&A. 上嶋浩順. 東京, (株)中外医学社, 2017; 第 1 版, p. 106-108.

5 論文

(1) 内科・総合診療科

- 阿部 麻衣, 鄭 瑞雄, 川合 聡史, 室田 敦子, 東野 俊洋, 田口 博章, 野崎 博之, 大曾根 康夫, 岡野 裕. シクロホスファミドが奏効した特異な精神症状を呈した全身性エリテマトーデスの一例. 関東リウマチ. 2018;51:13-15
- 横山 裕章, 東野 俊洋, 田口 博章, 大曾根 康夫, 岡野 裕. 横断性脊髄炎と意識障害を合併した高齢発症の全身性エリテマトーデスの一例. 関東リウマチ. 2018;50:14-19.
- 坂本 光男. 知っておきたいこと ア・ラ・カルト カンピロバクター感染症. Medical Practice. 2018;35:650-652.
- 坂本 光男. 【診療科別 プロが示す『抗菌薬適正使用』の理論と実践】 消化器内科. 感染と抗菌薬. 2018;21:15-20.
- 津村 和夫. J-DOIT3、2、1の航跡にたどる糖尿病戦略研究-合併症・受診中断・予防への総括と展望- 【「戦略研究」の歩みとその波及効果 わが国初の大規模ランダム化長期介入臨床研究が与えたインパクト. プラクティス. 2018;35:130-141.
- 永田 亮平. 多発性筋炎との鑑別を要したアルコール性ミオパチーの一例. 川崎市医師会医学会誌, 2017;34:2.
- 鳥海 聡. 片側性肺うっ血を認めた解離性大動脈瘤術後に再解離を来した1例. 川崎市医師会医学会誌, 2017;33:1.
- 野崎 博之.【神経毒とNeuroscience】 毒性のメカニズムと症候 有機リン. Clinical Neuroscience. 2017;35:1408-1411.
- 室田 敦子, 金子 祐子, 竹内 勤. 高齢関節リウマチ患者における生物学的製剤の安全性. リウマチ科. 2017;58:312-318.
- 津村 和夫. 【白熱! 患者指導力が劇的にアップする糖尿病教室ミラクルマニュアル そのまま使える秘伝のスライド&シナリオ大公開!】 (第3章)秘伝のミラクルスライドとシナリオでできる!ぐっとくる糖尿病教室 糖尿病網膜症がわかるミラクルスライド. 糖尿病ケア. 2017;秋季増刊:78-81.
- 津村 和夫. 【白熱! 患者指導力が劇的にアップする糖尿病教室ミラクルマニュアル そのまま使える秘伝のスライド&シナリオ大公開!】 (第3章)秘伝のミラクルスライドとシナリオでできる!ぐっとくる糖尿病教室 糖尿病神経障害がわかるミラクルスライド. 糖尿病ケア. 2017;秋季増刊:74-77.
- 脇坂 悠介, 井上 健太郎, 三原 規奨, 市東 昌也, 有泉 健, 高木 英恵, 玉井 博修, 相浦 浩一. 主膵管蛇行が反復する急性膵炎の一因となった早期慢性膵炎の1例. Progress of Digestive Endoscopy. 2017;90:164-165.
- 松原 祥平, 細田 智弘, 城下 郊平, 花田 亮太, 東野 俊洋, 田口 博章, 野崎 博, 坂本 光男. アメーバ肝膿瘍における各種抗体検査の有用性, 感染症学雑誌, 2017;91:530.
- 細田 智弘, 東野 俊洋, 田口 博章, 野崎 博之, 坂本 光男, 片山 真. Ommaya-reservoir 留置中に合併した中枢神経感染症の臨床的検討. 感染症学雑誌, 2017;91:517.

(2) 小児科

- 及川裕之. 急性脳症を発症したRSウイルス感染症の2歳男児. 小児科. 2017;59:457-461.

(3) 整形外科

小柳貴裕. 臨床研究における最近の統計手法の意義と Pits and Falls(後編) 混合効果モデル分析とその周辺(解説). 臨床整形外科. 2017; 52: 339-347.

増本奈々, 西本和正, 保坂聖一, 小柳貴裕. 腸恥滑液包に発生したと思われた色素性絨毛結節性滑膜炎の1例. 神奈川整形災害外科研究会雑誌. 2018; 40: 121-123.

西田有正, 小柳貴裕, 堀内行雄, 中道憲明, 小宮浩一郎, 西脇正夫, 山口健治. ビスフォスフォネート製剤長期内服により大腿骨内側に繰り返し不全骨折を生じた1例. 神奈川整形災害外科研究会雑誌. 2018; 40: 97-99.

美馬雄一郎, 小柳貴裕, 船尾陽生, 磯貝宜広, 大門憲史. 後脊髄動脈症候群に椎体梗塞を合併した1例. 臨床整形外科. 2017; 52: 587-592.

Funao H, Isogai N, Daimon K, Mima Y, Sugiura H, Koyanagi T, Nakamura M, Matsumoto M, Ishii K. A rare case of intradural and extramedullary epidermoid cyst after repetitive epidural anesthesia. World J Surg Oncol. 2017; 17: 131-131.

Ninomiya K, Fujita N, Hosogane N, Hikata T, Watanabe K, Tsuji O, Nagoshi N, Yagi M, Kaneko S, Fukui Y, Koyanagi T. Presence of Modic type 1 change increases risk of postoperative pyogenic discitis following decompression surgery for lumbar canal stenosis. J Orthop Sci. 2017; 22: 988-993.

西脇正夫. 【手のスポーツ外傷・障害】 疾患別治療・リハビリ・スポーツ復帰 TFCC 損傷. 臨床スポーツ医学. 2018; 35: 254-257.

Nakamura T, Abe K, Nishiwaki M, Iwamoto T, Sato K. Medium- to long-term outcomes of anatomical reconstruction of the radioulnar ligament to the ulnar fovea. J Hand Surg Eur. 2017; 42: 352-356.

Gammon B, Lalone E, Nishiwaki M, Willing R, Johnson J, King GJW. Arthrokinematics of the distal radioulnar joint measured using intercartilage distance in an in vitro model. J Hand Surg Am. 2018; 43: 283 e1-e9.

Bessho Y, Nakamura T, Nishiwaki M, Nagura T, Matsumoto M, Nakamura M, Sato K. Effect of decrease in radial inclination of distal radius fractures on distal radioulnar joint stability: a biomechanical study. J Hand Surg Eur. 2018.

Padmore CE, Stoesser H, Nishiwaki M, Gammon B, Langohr GDG, Lalone EA, Johnson JA, King GJW. The Effect of Dorsally Angulated Distal Radius Deformities on Carpal Kinematics: An In Vitro Biomechanical Study. J Hand Surg Am. 2018.

Nori S, Aoyama R, Ninomiya K, Yamane J, Kitamura K, Ueda S, Shiraishi T. Cervical laminectomy of limited width prevents postoperative C5 palsy: a multivariate analysis of 263 muscle-preserving posterior decompression cases. Eur Spine J. 2017; 26(9): 2393-2403.

小宮浩一郎, 福原悠介. 大腿骨外顆後方に生じた離断性骨軟骨炎に対し、自家培養軟骨(JACC)移植を行った1例. JOSKAS. 2017; 42: 406-407.

小宮浩一郎, 山口健治, 川崎舎俊一, 西田有正. TKA 後の膝蓋腱断裂に対し人工靭帯を用いた再建術を行い、感染を生じた1例 伸展機構を温存しての再置換術. 日本人工関節学会誌. 2017; 47: 83-84.

(4) 心臓血管外科

Kasahara H, Inoue Y, Hachiya T. Open Conversion for Type A Ascending Aortic Dissection after Thoracic Endovascular Aortic Repair by the Chimney Graft Technique. *Ann Thorac Cardiovasc Surg.* 2018 Jun 20;24(3):157-160.

Kasahara H, Haijima N, Hachiya T. Suture Line Dehiscence after Endovascular Aneurysm Repair in a Patient with Marfan Syndrome. *Ann Vasc Dis.* 2017 Jun 25;10(2):149-151.

(5) 皮膚科

川島祐平, 大方詩子, 宮川俊一. 2つの結節からなる pigmented eccrine poroma の1例. *臨床皮膚科.* 2018; 73: 244-248.

Okata-Karigane U, Hata Y, Watanebe-Okada E, Miyakawa S, Ota M, Uzawa Y, Iguchi S, Yoshida A, Kikuchi K. Subcutaneous abscesses caused by *Trichophyton rubrum* in the unilateral groin of an immunocompromised patient: A case report. *Med Mycol Case Report.* 2018; 21: 16-19.

Okata-Karigane U, Tanase K, Watanebe-Okada E, Irie R, Sugiura H, Miura K, Miyakawa S. Atypical fibroxanthoma with prominent CD8-positive lymphocytic infiltration and diffuse expression of epithelial membrane antigen. *J Dtsch Dermatol Ges.* 2018; 16: 330-332.

(6) 泌尿器科

Hakozaki K, Kikuchi E, Fukumoto K, Shirotake S, Miyazaki Y, Maeda T, Kaneko G, Yoshimine S, Tanaka N, Kanai K, Oyama M, Nakajima Y, Momma T, Oya M. Significance of a frozen section analysis of the ureteral margin in bladder cancer patients treated with radical cystectomy and neoadjuvant chemotherapy. *Med Oncol.* 2017; 34(12): 187.

Ogihara K, Kikuchi E, Watanabe K, Kufukihara R, Yanai Y, Takamatsu K, Matsumoto K, Hara S, Oyama M, Monma T, Masuda T, Hasegawa S, Oya M. Can urologists introduce the concept of "oligometastasis" for metastatic bladder cancer after total cystectomy? *Oncotarget.* 2017; 8(67): 111819-111835.

Matsumoto K, Kikuchi E, Yanai Y, Hayakawa N, Ito Y, Maeda T, Nagata H, Miyajima A, Oya M. Characterizing intermediate-risk non-muscle-invasive bladder cancer: Implications for the definition of intermediate risk and treatment strategy. *Urol Oncol.* 2017; 5: 208-214.

Hiraki M, Maeda T, Bouillez A, Alam M, Tagde A, Hinohara K, Suzuki Y, Markert T, Miyo M, Komura K, Ahmad R, Rajabi H, Kufe D. MUC1-C activates BMI1 in human cancer cells. *Oncogene.* 2017; 20: 2791-2801.

Bouillez A, Rajabi H, Jin C, Samur M, Tagde A, Alam M, Hiraki M, Maeda T, Hu X, Adeegbe D, Kharbanda S, Wong KK, Kufe D. MUC1-C integrates PD-L1 induction with repression of immune effectors in non-small-cell lung cancer. *Oncogene.* 2017; 28: 4037-4046.

Maeda T, Hiraki M, Jin C, Rajabi H, Tagde A, Alam M, Bouillez A, Hu X, Suzuki Y, Miyo M, Hata T, Hinohara K, Kufe D. MUC1-C Induces PD-L1 and Immune Evasion in Triple-Negative Breast Cancer. *Cancer Res.* 2018; 1: 205-215.

Maeda T, Kikuchi E, Hasegawa M, Homma K, Ando T, Suzuki K, Kaneko G, Mizuno R, Miyajima A,

Oya M. Influence of dutasteride treatment on serum hormone levels and aging male symptoms in patients with benign prostatic enlargement. *Int J Urol*. 2018; 1: 70-74.

Masahiro Katsui, Hiroshi Asanuma, Keishiro Fukumoto, Ryuichi Mizuno, Mototsugu Oya.

Retrocaval Ureter Manifested after Ureteral Reimplantation for Ipsilateral Vesicoureteral Reflux: A Case Report. *Urology Journal*.

(7) 産科・婦人科

林保良, 中田さくら. 【エキスパートの内視鏡手術-コツとピットフォール I】 子宮筋腫・粘膜下筋腫 子宮鏡下核出術. *産婦人科の実際*. 2018;67 :267-274.

春日義史, 玉川真澄, 上野和典, 杉浦仁, 木挽貢慈. 子宮内多嚢胞性超音波像として描出された水腫様流産の 1 例. *超音波医学*, 2018;45:223-223.

玉川真澄, 樋口隆幸, 鈴木毅, 春日義史, 金善恵, 上野和典, 林保良, 中田さくら, 染谷健一. 当院における妊娠合併卵巣嚢腫に対する全腹腔鏡下卵巣嚢腫切除術と腹腔鏡補助下卵巣嚢腫切除術の比較検討. *神奈川県産科婦人科学会誌*. 2018;54:143-147.

金善恵, 染谷健一, 千代田達幸, 早乙女啓子, 鈴木毅, 樋口隆幸, 上野和典, 中田さくら, 林保良.

全腹腔鏡下子宮摘出術中に生じた直腸損傷を腹腔鏡下に修復しえた 1 例. *神奈川県産科婦人科学会誌*, 2017;54:27-29.

谷垣佳子, 林保良, 早乙女啓子, 鈴木毅, 千代田達幸, 金善恵, 樋口隆幸, 上野和典, 染谷健一, 中田さくら, 山本和重. “外来における麻酔および頸管拡張が不要な子宮鏡下子宮内膜ポリープ除去術—LIN スネア®の有用性について—”. *日本産科婦人科内視鏡学会誌*. 2017;33:79-83.

鈴木毅, 金善恵, 樋口隆幸, 上野和典. 当院におけるイスラム教徒の妊婦に対する取り組み. 2017;787-791

Chiyoda T, Lin BL, Saotome K, Kiyokawa S, Nakada S. Hysteroscopic Transcervical Resection for Atypical Polypoid Adenomyoma of the Uterus: A Valid, Fertility-Preserving Option. *Journal of Minimally Invasive Gynecology* 2017;25 :163-169.

(8) 眼科

Ozawa H, Yamane M, Inoue E, Yoshida T, Katagiri S, Yokoi T, Nishina S, Azuma N. Long-term surgical outcome of conventional trabeculotomy for childhood glaucoma. *Japanese Journal of Ophthalmology*. 2017; 61: 237-244.

Sato S, Shinoda H, Nagai N, Suzuki M, Uchida A, Kurihara T, Kamoshita M, Tomita Y, Iyama C, Minami S, Yuki K, Tsubota K, Ozawa Y. Predictive factors of better outcomes by monotherapy of an antivascular endothelial growth factor drug, ranibizumab, for diabetic macular edema in clinical practice. *Medicine (Baltimore)*. 2017; 96(16):e6459.

堀内直樹, 富田洋平, 奥村良彦, 戸倉英之, 篠田肇, 坪田一男, 小沢洋子. 乳癌原発の転移性脈絡膜腫瘍に対し、ベバシズマブ硝子体内投与が奏効した 1 例. *あたらしい眼科*. 2017; 34 巻 9 号: 1327-1329.

(9) 耳鼻咽喉科

Imanishi Y, Ozawa H, Sakamoto K, Fujii R, Shigetomi S, Habu N, Otsuka K, Sato Y, Watanabe Y, Sekimizu M, Ito F, Tomita T, and Ogawa K. Clinical outcomes of transoral videolaryngoscopic surgery for hypopharyngeal and supraglottic cancer. *BMC Cancer*. 2017; 17: 445.

Takase S, Kano S, Tada Y, Kawakita D, Shimura T, Hirai H, Tsukahara K, Shimizu A, Imanishi Y, Ozawa H, Okami K, Sato Y, Sato Y, Fushimi C, Okada T, Sato H, Otsuka K, Watanabe Y, Sakai A, Ebisumoto K, Togashi T, Ueki Y, Ota H, Hanazawa T, Chazono H, Osamura RY, and Nagao T. Biomarker immunoprofile in salivary duct carcinomas: clinicopathological and prognostic implications with evaluation of the revised classification. *Oncotarget*. 2017; 8: 59023-59035.

Sato Y, Imanishi Y, Tomita T, Ozawa H, Sakamoto K, Fujii R, Shigetomi S, Habu N, Otsuka K, Watanabe Y, Sekimizu M, and Ogawa K. Clinical diagnosis and treatment outcomes for parapharyngeal space schwannomas: A single-institution review of 21 cases. *Head and Neck*. 2018; 40: 569-576.

Shimura T, Tada Y, Hirai H, Kawakita D, Kano S, Tsukahara K, Shimizu A, Takase S, Imanishi Y, Ozawa H, Okami K, Sato Y, Sato Y, Fushimi C, Takahashi H, Okada T, Sato H, Otsuka K, Watanabe Y, Sakai A, Ebisumoto K, Togashi T, Ueki Y, Ota H, Ando M, Kohsaka S, Hanazawa T, Chazono H, Kadokura Y, Kobayashi H, and Nagao T. Prognostic and histogenetic roles of gene alteration and the expression of key potentially actionable targets in salivary duct carcinomas. *Oncotarget*. 2018; 9: 1852-1867.

Shimanuki M, Imanishi Y, Sato Y, Nakahara N, Totsuka D, Sato E, Iguchi S, Sato Y, Soma K, Araki Y, Shigetomi S, Yoshida S, Uno K, Ogawa Y, Tominaga T, Ikari Y, Nagayama J, Endo A, Miura K, Tomioka T, Ozawa H, and Ogawa K. Pretreatment monocyte counts and neutrophil counts predict the risk for febrile neutropenia in patients undergoing TPF chemotherapy for head and neck squamous cell carcinoma. *Oncotarget*. 2018; 9: 18970-18984.

島貫茉莉江, 戸塚大輔, 中原奈々, 佐藤陽一郎, 今西順久. 頸部刺傷による鋭的気管損傷の治療経験. *日本耳鼻咽喉科学会会報*. 2018; 121: 912-919.

渡部佳弘, 今西順久, 小澤宏之, 岡本康秀, 佐藤陽一郎, 池真理, 竹林亜貴子, 小川郁. 咽喉頭癌経口切除後のトリアムシノロンアセトニド局所注射による咽頭狭窄予防. *頭頸部外科*. 2018; 28: 107-113.

(10) 放射線診断科

Torikai H, Hasegawa I, Jinzaki M, Narimatsu Y. Preliminary Experience of Endovascular Embolization Using N-Butyl Cyanoacrylate for Hemoptysis due to Infectious Pulmonary Artery Pseudoaneurysms via Systemic Arterial Approach. *J Vasc Interv Radiol*. 2017; 28: 1438-1442.

佐藤宏朗. 【小児科エコー活用術】体幹・表在 頸部腫瘍. *小児科診療*. 2017; 80: 1391-1400.

三宅博之. 一般撮影部門における面積線量計の活用法. *日本放射線技術学会*. 2017; 25(2): 41-43.

(11) 麻酔科

Osaka Y, Morita Y. "Subcutaneous emphysema" is not always actually in the subcutaneous plane. A Case of subfascial emphysema after laparoscopy. J Clin Anesth. 2018; 46: 10-11.

Osaka Y, Morita Y. Supraclavicular brachial plexus block is an alternative to pectoral nerve block 1 for contracture reconstruction post mastectomy. J Clin Anesth. 2018; 46: 12-12.

逢坂佳宗, 石渡博昭, 瀬上和貴, 森田慶久. 骨盤骨折固定中の大腿骨頸部骨折手術に対して全身麻酔と Transmuscular 腰方形筋ブロックで管理した一症例. 日本臨床麻酔学会誌. 2018; 46: 12-12.

Osaka Y, Morita Y. A combination of probe holder and laser navigation. JA Clinical Reports. 2018; 4: 19.

安藤嘉門. ベーシック特集 1 装着時に異常値・波形が起こるのはなぜ?. オペナーシング. 2018; 33(1): 14-25.

安藤嘉門. すべての大量輸血患者を等しく治療すべきか? 非外傷患者の大量輸血における輸血製剤比率の分析. Critical Care Medicine 日本語版. 2018; 2(2): 2-3.

安藤嘉門. 急性呼吸促迫症候群における血中トロポニンの検出率と予後の関連性. Critical Care Medicine 日本語版. 2018; 2(2): 18-19.

細井卓司, 山田高成, 森崎浩, 浦上研一, 楠原正俊, 玉井直. 術後の悪心・嘔吐の予測は可能か?. 日本臨床麻酔学会誌. 2017; 37: 407-417.

(12) 救急科

土井賢治, 田熊清継, 金尾邦生, 白川和宏, 三吉貴大, 竹村成秀, 大城健一, 松田潔. 【集団災害時の多数熱傷患者の対応】 川崎市内で発生した火災事故による多数傷病者事案のトリアージレベルと重症度の検証. 熱傷. 2017; 43: 78-84.

田熊清継. 【熱傷診療 up to date】 Burn wound sepsis と抗感染症治療薬. 日本外科感染症学会雑誌. 2017; 14: 287-295.

Umamura Y, Ogura H, Gando S, Kushimoto S, Saitoh D, Mayumi T, Fujishima S, Abe T, Ikeda H, Kotani J, Miki Y, Shiraishi SI, Shiraishi A, Suzuki K, Suzuki Y, Takeyama N, Registry (JAAMSR) Study Group, Takuma K, Tsuruta R, Yamaguchi Y, Yamashita N, Aikawa N; JAAM Sepsis Registry (JAAMSR) Study Group. Assessment of mortality by qSOFA in patients with sepsis outside ICU: A post hoc subgroup analysis by the Japanese Association for Acute Medicine Sepsis Registry Study Group. J Infect Chemother. 2017; 23: 757-762.

齋藤豊, 田熊清継. 軽微な受傷機転で生じた大腿部皮下血腫から診断に至った後天性第XIII因子欠乏症の1例. 日本救急医学会関東地方会雑誌. 2017; 38: 318-321.

Kushimoto S, Gando S, Ogura H, Umamura Y, Saitoh D, Mayumi T, Fujishima S, Abe T, Shiraishi A, Ikeda H, Kotani J, Miki Y, Shiraishi SI, Suzuki K, Suzuki Y, Takeyama N, Takuma K, Tsuruta R, Yamaguchi Y, Yamashita N, Aikawa N. Complementary Role of Hypothermia Identification to the Quick Sequential Organ Failure Assessment Score in Predicting Patients With Sepsis at High Risk of Mortality: A Retrospective Analysis From a Multicenter, Observational Study. J Intensive Care Med. 2018; Epub.

(13) 歯科口腔外科

Yasui T, Mabuchi Y, Morikawa S, Onizawa K, Akazawa C, Nakagawa T, Okano H, Matsuzaki Y. Isolation of dental pulp stem cells with high osteogenic potential. Inflammation and Regeneration. 2017; 37: doi: 10.1186/s41232-017-0039-4. eCollection 2017.

佐藤仁, 安居孝純, 軽部健史, 筋生田整治, 鬼澤勝弘. 小児の下顎骨に生じた菌原性粘液線維腫の1例. 日本口腔外科学会雑誌. 2017; 63: 467-471.

(14) 検査科

Funao H, Isogai N, Daimon K, Mima Y, Sugiura H, Koyanagi T, Nakamura M, Matsumoto M, Ishii K. A rare case of intradural and extradural extramedullary epidermoid cyst after repetitive epidural anesthesia: case report and review of the literature. World Journal of Surgical Oncology. 2017; 15: 131.

Okata-Karigane U, Tanese K, Watanabe-Okada E, Irie R, Sugiura H, Miura K, Miyakawa S. Atypical fibroanthoma with prominent CD8-positive lymphocytic infiltration and diffuse expression of epithelial membrane antigen. Journal of the German Society of Dermatology. 2018; 16: 330-332.

春日義史, 玉川真澄, 上野和典, 杉浦仁, 木挽貢慈, 中田さくら. 子宮内多嚢胞性超音波像として描出された水腫様流産の1例. Japanese journal of medical ultrasonics. 2018; 45: 223-223.

(15) 薬剤部

井上彰大, 渡部絵梨可, 飯島尚志. 脂肪乳剤の適正使用への取り組み. 神病薬誌. 2017; 49(3): 2-8.

(16) 看護部

大山美和子. 離床の前に知っておきたい血液生化学データの見方 離床する前に確認しておきたい体水分 InOutBalance. 実践 早期離床完全マニュアル. 改訂第2版. 2017.

田中君江. 私が今、主任に戻れたらやりたいこと. 日総研出版主任. 2017年秋号.

吉崎弘之. 精神科ナースのアセスメント&プランニング books シリーズ うつ病・双極性障害の看護ケア「産後のうつの人」. 中央法規出版株式会社. 2017.

奈良唯唯子. 治療の進み方とナーシングポイント. Emergency Care2017年 夏季増刊. 2017年

奈良唯唯子. 特集テーマ「ERでの鎮痛と鎮静; 非日常へのレジリエントな対応」鎮痛・鎮静における看護師の役割. (株)へるす出版「救急医学」. 2017; 41(2).

6 学会・研究会

(1) 内科・総合診療科

遠藤 洵之介, 高田 昌幸, 津村 和夫, 鈴木 昂名, 上妻 嵩英, 森岡 紘子, 野崎 博之, 有馬 功一郎, 岡野 裕, 大曾根 康夫. 2年に亘り CA19-9 と血糖管理水準の推移を確認しえた 2 型糖尿病の 1 例. 日本内科学会関東地方会 639 回, 平成 30 年 2 月. 東京.

永田 真夕, 細田 智弘, 坂本 光男, 野崎 博之. Pneumocystis 肺炎加療中に縦隔気腫を併発した 1

例. 日本病院総合診療医学会, 平成 30 年 1 月.

森岡 紘子, 細田 智弘, 野崎 博之. 突然的に発症したため診断に難渋した下垂体腺腫に伴う続発性副腎皮質機能低下症. 日本病院総合診療医学会, 平成 30 年 1 月.

松原 祥平, 細田 智弘, 坂本 光男, 野崎 博之. EBV による伝染性単核球症の回復期に A 群 β 溶連菌による化膿性扁桃炎を合併した 2 症例. 日本病院総合診療医学会, 平成 30 年 1 月.

深江 智明, 鎌田 龍明, 高橋 賢至, 滝口 俊一, 李 慧崇, 伯野 大彦, 西澤 健也
末吉 浩一郎, 岡野 裕, 野崎 博之. 当院における PCPS を用いた心肺蘇生 (ECPR) の成績.
日本内科学会. 平成 30 年 2 月. 東京.

井上 健太郎, 相浦 浩一, 松原 祥平, 野間 絵梨子, 脇坂 悠介, 津軽 開, 花田 亮太,
有泉 健, 高木 英恵, 玉井 博修, 三原 規奨, 市東 昌也, 折笠 英紀, 杉浦 仁. 増大傾向を示す単房性膝嚢胞により主膝管の圧排・狭窄を来し、膝癌類似の画像所見を呈した 1 例. 日本消化器内視鏡学会関東支部. 平成 29 年 12 月. 東京.

松原 祥平, 井上 健太郎, 三原 規奨, 野間 絵梨子, 脇坂 悠介, 津軽 開, 花田 亮太, 有泉 健
高木 英恵, 玉井 博修, 市東 昌也, 相浦 浩一. 術前膝原発性腫瘍と鑑別が難しかった壁外発育型巨大胃 GIST の 1 例. 日本消化器内視鏡学会関東支部, 平成 29 年 12 月. 東京.

川合 聡史, 永田 亮平, 岩崎 恵美, 葉末 亮, 室田 敦子, 田口 博章, 大曾根 康夫, 岡野 裕.
ステロイドが奏功した大量の腹水を呈した全身性エリテマトーデスの 1 例. 日本リウマチ学会関東支部学術集会. 平成 29 年 12 月. 東京.

田中 優衣, 井上 健太郎, 花田 亮太, 松原 祥平, 有泉 健, 高木 英恵, 玉井 博修, 岡野 裕, 野崎 博之, 折笠 英紀. 直腸肛門管原発無色素性悪性黒色腫に対してニボルマブを使用した 1 例. 日本内科学会関東地方会 638 回. 平成 29 年 12 月. 東京.

及川 紗由香, 細田 智弘, 坂本 光男, 野崎 博之, 岡野 裕, 大曾根 康夫, 秋月 哲史, 佐藤 えみり. 急性感音難聴を来した成人発症ムンプスの 1 例. 日本内科学会関東地方会 638 回. 平成 29 年 12 月. 東京.

内 孝文, 釧持 奈緒美, 布施 彰久, 北菌 久雄, 野崎 博之, 大曾根 康夫, 秋月 哲史. 脱力を主訴に来院し病歴聴取から Bickerstaff 型脳幹脳炎 (BBE) の診断に至った 1 例. 日本内科学会関東地方会 637 回, 平成 29 年 11 月. 東京.

城谷 翔太, 深江 智明, 高橋 賢至, 滝口 俊一, 李 慧崇, 伯野 大彦, 西澤 健也, 末吉 浩一郎, 岡野 裕, 野崎 博之. たこつぼ心筋症に一過性の完全房室ブロックを合併した 1 例. 日本内科学会関東地方会 637 回. 平成 29 年 11 月. 東京.

内田 絢子, 中川原 賢亮, 田中 希宇人, 川合 聡史, 葉末 亮, 扇野 圭子, 大森 奈緒, 佐山 宏一, 野崎 博之, 岡野 裕. 進行肺扁平上皮癌に対する化学療法中に IgA 血管炎を発症した 1 例. 日本内科学会関東地方会 636 回. 平成 29 年 11 月. 東京.

津軽 開, 布施 彰久, 北菌 久雄, 東野 俊洋, 野崎 博之, 岡野 裕, 大曾根 康夫, 秋月 哲史,
シェーグレン症候群に NMO spectrum disorder (NMOSD) の合併が疑われた大脳多発白質病変の 1 例.
日本内科学会関東地方会 633 回, 平成 29 年 6 月. 東京.

明神 聡介, 高橋 賢至, 鎌田 龍明, 深江 智明, 李 慧崇, 西澤 健也, 末吉 浩一郎, 岡野 裕, 野崎 博之, 笠原 啓史. 腱索断裂に伴う僧帽弁逆流症により急性心不全を発症した 1 例. 日本内科学会関東地方会 633 回. 平成 29 年 6 月. 東京.

野間 絵梨子, 細田 智弘, 坂本 光男, 岡野 裕, 野崎 博之, 大曾根 康夫, 秋月 哲史, 美馬 雄一郎. 血液培養で *Bacteroides fragilis* が検出された後に化膿性椎間板炎、両側腸腰筋膿瘍の診断に至った1例. 日本内科学会関東地方会 634 回. 平成 29 年 7 月. 東京.

中川原 賢亮, 脇坂 悠介, 井上 健太郎, 有泉 健, 高木 英恵, 玉井 博修, 野崎 博之, 岡野 裕, 秋月 哲史, 杉浦 仁. 性肝炎様に発症し肝生検にて早期に診断し得た末梢性 T 細胞リンパ腫の 1 例. 日本内科学会関東地方会 634 回. 平成 29 年 7 月. 東京.

(2) 小児科

佐々木万里恵. 左前頸部の腫脹にて発見された縦隔脂肪種の 1 小児例. 小児科学会学術集会. 平成 29 年 4 月. 東京

手塚朋子. 川崎病後 Post Cardiac Injury Syndrome の一例. 小児科学会学術集会. 平成 29 年 4 月. 東京

原碧. 小児期には指摘し得なかった右肺動脈欠損の一例. 小児科学会学術集会. 平成 29 年 4 月. 東京

本田 堯. トスフロキサシン (TFLX) の加療投与により腎機能障害を呈した一例. 日本小児腎臓病学会. 平成 29 年 6 月. 東京

榎林敦. 電子お薬手帳「harmo」の川崎病院での活用事例. 川崎病院周辺薬局との意見交換会. 平成 29 年 7 月. 神奈川

荒木耕生. 新生児期には指摘し得なかった右肺動脈欠損の一例. 日本小児循環器学会総会. 平成 29 年 7 月. 浜松

榎林敦. 注射カレンダー稼働後報告「現場からお伝えします」. 第 13 回導入／運用ノウハウ事例発表会. 平成 29 年 9 月. 東京

榎林敦. 検体ラベルの患者間違いを減らしました！. 第 13 回導入／運用ノウハウ事例発表会. 平成 29 年 9 月. 東京

榎林敦. 薬剤に関するインシデントレポートからみえるもの 間違いを減らすために何ができるのか？. 第 13 回導入／運用ノウハウ事例発表会. 平成 29 年 9 月. 東京

本田 堯. 全身型若年性特発性関節炎の初発時の検査の考察 専門家へのアンケートを含めて. 日本小児リウマチ学会総会. 平成 29 年 10 月. 京都

本田 堯. 学童期に肺膿瘍を呈した先天性肺気道奇形 (congenital pulmonary airway malformation; CPAM) の 1 例. 日本小児呼吸器学会. 平成 29 年 11 月. 東京

榎林敦. 小児科医が伝えるおくすりとの上手な付き合い方のヒント. 発達が気になるお子様の医療・服薬を考えるワークショップ. 平成 29 年 11 月. 東京

榎林敦. ユーザー目線で構築されたインスリン投与支援機能. 第 37 回医療情報学連合大会. 平成 29 年 11 月. 大阪

榎林敦. 電子カルテ標準機能を使用して構築した予防接種ツール. 第 37 回医療情報学連合大会. 平成 29 年 11 月. 大阪

榎林敦. パッケージ型電子カルテをとことん使い倒す！！. 福井県立病院電子カルテシステム講演会. 平成 30 年 1 月. 福井

榎林敦. 電子カルテリプレイス時のポイント・ノウハウ取得講座. 日本経営協会セミナー. 平成 30

年1月. 東京

土橋隆俊. 学校検診で問題となる先天性心疾患について. 平成29年度心臓病集団検診に伴う内科校医研修会. 平成30年2月. 神奈川

西恵美里. 誘因なく発症した新生児鎖骨骨髄炎. 日本小児科学会神奈川地方会. 平成30年3月. 神奈川

(3) 新生児内科

森和広, 少子化による新生児専門医研修年数への影響と専門医育成・確保の転換点. 第120回日本小児科学会, 平成29年4月. 東京

栗原伸芳, 金子絵名, 坂井みのり, 梶原久美子, 森和広. 一過性甲状腺機能亢進症に続発し中枢性甲状腺機能低下症を認めた早産児例. 第53回日本周産期・新生児医学会. 平成29年7月. 横浜
坂井みのり, 金子絵名, 梶原久美子, 古川律子, 森和広. 川崎市立病院における若年妊婦から出生した新生児の現状. 第62回日本新生児成育医学会. 平成29年10月. 大宮

金子絵名, 坂井みのり, 梶原久美子, 古川律子, 栗原伸芳, 森和広. 正規産児の慢性肺疾患類似の病態に対してヒドロコルチゾン投与が有効であった正規産児の2例. 第62回日本新生児成育医学会. 平成29年10月. 大宮

坂井みのり, 金子絵名, 梶原久美子, 古川律子, 森和広, 肥沼悟郎. 治療に難渋している肺胞蛋白症(特発性間質性肺疾患)の2歳女児例. 第50回日本小児呼吸器学会. 平成29年11月. 東京

(4) 外科

井上正純. SM2浸潤を認めた4mm大のType 0-Is食道扁平上皮癌の一例. 第14回拡大内視鏡研究会. 平成29年9月. 札幌.

Inoue M. Clinical utility of Narrow Band Imaging magnifying endoscopy for MM/SM1 esophageal squamous cell carcinoma. 25th UEG Week 2017. Barcelona.

井上 正純, 森田 純子, 村田 哲, 金本 徳之, 塩味 慶子, 疋田 康祐, 高橋 秀奈, 菊池 弘人, 三原 規奨, 和多田 晋, 萬谷 京子, 夏 錦言, 相浦 浩一, 坂本 光男, 市東 昌也. 当院における消化管術後のSSI発生状況と今後の課題. 第30回日本外科感染症学会. 平成29年11月. 東京
井上 正純, 竹内 裕也, 松田 祐子, 小倉 正治, 西 知彦, 福田 和正, 川久保 博文, 北川 雄光. 周術期感染性合併症と癌の再発・予後 ケモカインネットワークからみた食道癌周術期と癌転移再発. 第30回日本外科感染症学会. 東京

菊池 弘人, 高橋 秀奈. 当院におけるロンサーフの使用経験. 日本大腸肛門病学会, 第72回日本大腸肛門病学会. 平成29年11月. 福岡.

疋田 康祐, 三原 規奨, 井上 正純, 高橋 秀奈, 菊池 弘人, 夏 錦言, 相浦 浩一, 市東 昌也. 術前画像診断が困難であり、腹腔鏡下脾温存尾側膵切除術を施行したデスマイド型線維腫の一例, 第30回日本内視鏡外科学会, 平成29年12月, 大阪市.

菊池 弘人 村田 哲, 金本 徳之, 塩味 慶子, 疋田 慶祐, 井上 正純, 高橋 秀奈, 三原 規奨, 和多田 晋, 萬谷 京子, 夏 錦言, 相浦 浩一, 市東 昌也. 人工肛門造設症例におけるSSIの予防 皮膚用接着剤について中心に. 第30回日本外科感染症学会. 平成29年11月, 東京.

高橋 秀奈, 相浦 浩一, 夏 錦言, 萬屋 京子, 和多田 晋, 三原 規奨, 菊池 弘人, 井上 正純, 疋

田 康祐, 塩味 慶子, 金本 徳之, 村田 哲, 市東 昌也. 当院における腹腔鏡下虫垂切除術の検討. 第 30 回日本外科感染症学会, 平成 29 年 11 月, 東京.

塩味 慶子, 三原 規奨, 井上 正純, 高橋 秀奈, 菊池 弘人, 和多田 晋, 萬谷 京子, 夏 錦言, 相浦 浩一, 市東 昌也. 腹腔鏡下に切除した成人小腸重複腸管の一例. 日本臨床外科学会.

荒木 一兵太, 和多田 晋, 佐藤 宏朗, 掛札 敏裕. 絞扼解除のみで軽快した ileosigmoid knot の 1 例. 第 72 回日本消化器外科学会総会. 平成 29 年 7 月. 金沢市.

市東 昌也, 相浦 浩一, 三原 規奨, 井上 正純, 菊池 弘人, 和多田 晋, 萬谷 京子, 夏 錦言, 掛札 敏裕. 当院における開腹胆嚢摘出術の検討. 第 72 回日本消化器外科学会総会. 平成 29 年 7 月. 金沢市.

三原 規奨, 杉浦 禎一, 中野 容, 北郷 実, 板野 理, 上坂 克彦, 北川 雄光. 術後再発膀胱癌の予後因子についての検討. 第 72 回日本消化器外科学会総会. 平成 29 年 7 月. 金沢市.

萬谷 京子, 夏 錦言. センチネルリンパ節にマクロ転移を認めた T2N0M0 以下の原発性乳癌における非センチネルリンパ節への転移状況. 第 25 回日本乳癌学会総会. 平成 29 年 7 月. 福岡市.

菊池 直哉, 和多田 晋, 井上 正純, 田中 朋陽, 掛札敏裕. 緊急血栓塞栓除去により大量腸切除を免れた上腸間膜動脈塞栓症の 1 例. 第 45 回日本血管外科学会. 平成 29 年 4 月. 広島市.

和多田 晋, 尾原 秀明, 掛札 敏裕, 松原 健太郎, 小野 滋司, 渋谷 慎太郎, 内田 智夫, 朝見 淳規, 大住 幸司, 新谷 恒弘, 秋好 沢林, 関本 康人, 原田 裕久, 藤村 直樹, 北川 雄光. 孤立性腸骨動脈瘤 204 例に対する治療法および治療成績の検討. 第 45 回日本血管外科学会. 平成 29 年 4 月. 広島市.

(5) 呼吸器外科

澤藤誠, 井澤菜緒子. 肺大細胞神経内分泌癌切除例の検討. 第 34 回日本呼吸器外科学会. 平成 30 年 5 月. 福岡.

澤藤誠, 井澤菜緒子. 原発性肺癌に対する気管支形成術施行例の検討. 第 40 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会. 平成 30 年 6 月. 長崎.

(6) 脳神経外科

布施彰久, 北薊久雄, 植田 良, 野崎博之. 脳静脈洞血栓症の診断後に耳漏を認め、原因として中耳炎が疑われた 1 例. 第 43 回日本脳卒中学会学術集会. 平成 30 年 3 月. 福岡.

(7) 整形外科

美馬雄一郎, 藤田順之, 鈴木悟士, 藤井武, 渡辺航太, 石井賢, 辻崇, 宮本健史, 松本守雄, 中村雅也. 椎間板変性における Semaphorin 3A の発現および機能について. 一般演題. 第 46 回日本脊椎脊髄病学会学術集会. 平成 29 年 4 月. 札幌市.

Mima Y, Fujita N, Suzuki S, Fujii T, Watanabe K, Ishii K, Tsuji T, Miyamoto T, Matsumoto M and Nakamura M. Role of semaphorin 3A in intervertebral disc degeneration. Poster session. The 44th International Society for the Study of the Lumbar Spine (ISSLS) annual meeting. May 2017. Athens.

辻阪亮介, 美馬雄一郎, 上田誠司. DISH を背景とした 2 ヶ所の脊椎脱臼骨折を生じた 1 例. 一般演

題. 第 23 回神奈川東部整形外科症例検討会. 平成 29 年 6 月. 横浜市.

石倉佳代子, 美馬雄一郎, 小柳貴裕. 尋常性乾癬に黄色靱帯骨化症を併発した 2 例. 口演. 神奈川整形災害外科研究会. 平成 29 年 10 月. 横浜市.

西脇正夫, 清田康弘, 稲葉尚人, 別所祐貴, 堀内行雄. 橈骨遠位端関節内骨折に対する Monoaxial Locking Plate と Polyaxial Locking Plate の前向き無作為化比較研究—単純 X 線・CT 評価—. 口演. 第 60 回日本手外科学会学術集会. 平成 29 年 4 月. 名古屋市.

西脇正夫, 中村俊康, 堀内行雄, James A. Johnson, Graham J.W. King. 新鮮凍結屍体を用いた橈骨遠位端骨折へのアプローチ—橈骨遠位端骨折変形治癒が遠位橈尺関節のキネマティクスに与える影響—. シンポジウム. 第 60 回日本手外科学会学術集会. 平成 29 年 4 月. 名古屋市.

Nishiwaki M, Nakamura T, Horiuchi Y, Mark W, Braden G, Louis F, James J, Graham K. Distal radioulnar joint kinematics in simulated dorsally and volarly angulated distal radius fractures. 口演. 第 90 回日本整形外科学会学術集会. 平成 29 年 5 月. 仙台市.

西脇正夫, 稲葉尚人, 別所祐貴, 中道憲明. 橈骨遠位端骨折に対する単軸性/多軸性ロッキングプレートの前向き無作為化比較研究—プレート設置位置—. ポスター. 第 43 回日本骨折治療学会学術集会. 平成 29 年 7 月. 郡山市.

西脇正夫, 中村俊康, 清田康弘, 堀内行雄, James A. Johnson, Graham J.W. King. Smith 骨折が前腕回内外可動域と遠位橈尺関節のキネマティクスに与える影響. 口演. 第 10 回日本手関節外科ワークショップ. 平成 29 年 9 月. 東京.

西脇正夫, 辻坂亮介, 清田康弘, 中道憲明, 堀内行雄, 岡崎真人, 田崎憲一, 棚木弘和, 谷野善彦. 上腕骨内側顆骨折の治療経験. シンポジウム. 第 23 回神奈川上肢外科研究会. 平成 29 年 10 月. 横浜市.

西脇正夫. 受傷後 5 週で手術した橈骨遠位端 Marginal fracture の 1 例. 口演. 第 2 回橈骨遠位端骨折を語る会. 平成 30 年 1 月. 東京.

西脇正夫, 清田康弘, 堀内行雄, 岡崎真人, 田崎憲一, 谷野善彦. 成人上腕骨内側顆骨折の治療経験. 口演. 第 30 回日本肘関節学会学術集会, 平成 30 年 2 月. 東京.

稲葉尚人, 西脇正夫, 別所祐貴, 佐藤和毅, 堀内行雄. 橈骨遠位端関節内骨折術後早期の Disability of the Arm Shoulder and Hand (DASH) に影響を与える因子の検討. 口演. 第 60 回日本手外科学会学術集会. 平成 29 年 4 月. 名古屋市.

清田康弘, 西脇正夫, 石倉佳代子, 辻坂亮介, 美馬雄一郎, 畑亮輔, 山口健治, 小宮浩一郎, 中道憲明, 上田誠司, 堀内行雄. 掌側ロッキングプレート近位スクリューによる長母指伸筋腱皮下断裂の 1 例. 口演. 第 23 回神奈川上肢外科研究会. 平成 29 年 10 月. 横浜市.

清田康弘, 西脇正夫, 辻坂亮介, 堀内行雄. 掌側ロッキングプレート近位スクリューにより長母指伸筋腱皮下断裂を生じた 1 例. 口演. 第 32 回東日本手外科研究会. 平成 30 年 2 月. 東京.

稲葉尚人, 鈴木拓, 長谷川正樹, 西脇正夫, 大木聡, 松村昇, 岩本卓士, 中村雅也, 松本守雄, 佐藤和毅. 年齢、性別、左右が等分散な健常小児集団における humerus-elbow-wrist angle 正常値の調査. 口演. 第 30 回日本肘関節学会学術集会. 平成 30 年 2 月. 東京.

小宮浩一郎. 膝伸展機構損傷に対し、suture anchor (SwiveLock) を用いた knotless 縫合で 1 次修復を行った 2 例. 第 9 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会. 平成 29 年 6 月. 札幌市.

小宮浩一郎, 山口健治, 畑亮輔, 美馬雄一郎, 澤近真文. 同側 THA, 大腿骨顆上骨折術後の metallosis

に対し、simulation model と Orthopaedic Salvage System が有用であった RA の 1 例。第 48 回日本人工関節学会。平成 30 年 2 月。東京。

(8) 形成外科

畑野麻子。眼窩上部に衝撃が負荷した際に生じる骨折の解析。第 26 回日本形成外科学会基礎学術総会。平成 29 年 10 月。大阪。

(9) 皮膚科

大方詩子，渡辺絵美子，宮川俊一，鶴澤豊，井口成一，吉田敦，菊池賢，畑康樹。Trichopyton rubrum による深在性白癬と考えた左鼠径部多発性皮下膿瘍の 1 例。第 66 回神奈川医真菌研究会。平成 29 年 6 月。横浜。

(10) 泌尿器科

勝井政博，宮嶋哲，森田伸也，松本一宏，篠田和伸，小坂威雄，水野隆一，篠島利明，菊地栄次，浅沼宏，大家基嗣。当院における腹腔鏡下副腎部分切除術の術式確立の試み。一般演題・ポスター。第 105 回日本泌尿器科学会総会。平成 29 年 4 月。鹿児島。

金子剛，服部盛也，石岡桂，原智。当院における腹腔鏡下膀胱全摘除術の初期経験。一般演題・ポスター。第 31 回日本泌尿器内視鏡学会総会。平成 29 年 11 月。徳島。

勝井政博，服部盛也，梅田浩太，金子剛，原智。腎細胞癌異時性両側副腎転移に対し後腹膜鏡下副腎部分切除術で副腎機能温存しえた 1 例。一般演題・ポスター。第 31 回日本泌尿器内視鏡学会総会。平成 29 年 11 月。徳島。

梅田浩太，服部盛也，勝井政博，石岡桂，原智。骨盤腎に発生した腎細胞癌に対して腹腔鏡下腎摘除術を施行した 1 例。一般演題・口演。神奈川県泌尿器科医会。平成 29 年 6 月。神奈川。

Katsui M, Arakawa T, Bessho H, Ohigashi T. Two cases in which lithotripsy was successfully underwent by f-TUL and ESWL for renal stones formed after total cystectomy and ileal conduit. 15th Urological Association of Asia Congress. Aug. 2017. HongKong.

梅田浩太，服部盛也，勝井政博，石岡桂，原智。陰嚢内神経鞘腫の 1 例。一般演題・口演。神奈川県泌尿器科医会。平成 29 年 11 月。神奈川。

(11) 産科・婦人科

春日義史，樋口隆幸，玉川真澄，鈴木毅，金善恵，上野和典，染谷健一，林保良，中田さくら。日本人やせ妊婦の母体背景および周産期予後に関する後方視的検討。第 6 回日本 DOHaD 学会。平成 29 年 8 月 27 日。東京都。

樋口隆幸，玉川真澄，鈴木毅，春日義史，金善恵，上野和典，中田さくら，染谷健一，林保良。妊娠合併卵巣嚢腫に対する腹腔鏡下手術の後方視的検討—開腹手術との比較—。第 57 回日本産科婦人科内視鏡学会。平成 29 年 9 月。岡山市。

染谷健一，玉川真澄，鈴木毅，春日義史，金善恵，樋口隆幸，上野和典，林保良，岩田壮吉，中田さくら。当院における卵巣嚢腫合併妊娠に対する腹腔鏡下手術の検討。第 57 回日本産科婦人科内視鏡学会。平成 29 年 9 月。岡山市。

林保良, 玉川真澄, 鈴木毅, 春日義史, 金善恵, 樋口隆幸, 上野和典, 染谷健一, 中田さくら. TCR手術用新しい筋腫鉗子の開発とその臨床応用について. 第57回日本産科婦人科内視鏡学会. 平成29年9月. 岡山市.

林保良, 玉川真澄, 鈴木毅, 春日義史, 金善恵, 樋口隆幸, 上野和典, 染谷健一, 中田さくら. 子宮内膜ポリプスネアシステムの新しいスネアループの開発および臨床応用. 第57回日本産科婦人科内視鏡学会. 平成29年9月. 岡山市.

中田さくら, 林保良, 玉川真澄, 鈴木毅, 春日義史, 金善恵, 樋口隆幸, 上野和典, 染谷健一, 岩田壮吉. タモキシフェン投与中にみられた子宮内膜ポリープに対してTCRを施行した3例. 第57回日本産科婦人科内視鏡学会. 平成29年9月. 岡山市.

上野和典, 鈴木毅, 樋口隆幸, 中田さくら, 染谷健一, 林保良, 春日義史, 玉川真澄, 金善恵. 診断的腹腔鏡を施行したPUL (Pregnancy of Unknown Location) の1例. 第57回日本産科婦人科内視鏡学会. 平成29年9月. 岡山市.

金善恵, 染谷健一, 玉川真澄, 鈴木毅, 春日義史, 樋口隆幸, 上野和典, 中田さくら, 林保良, 岩田壮吉. 先天性腎尿路異常を合併した2例のTLH手術経験. 第57回日本産科婦人科内視鏡学会. 平成29年9月. 岡山市.

千代田達幸, 林保良, 早乙女啓子, 中田さくら. Atypical polypoid adenomyoma に対し子宮鏡手術を行った35例の解析. 第59回日本婦人科腫瘍学会. 平成29年7月. 熊本市.

早乙女啓子, 千代田達幸, 林保良, 清河駿樹, 鈴木毅, 金善恵, 樋口隆幸, 上野和典, 染谷健一, 中田さくら. 子宮ポリープ状異型腺筋腫 (APAM) の子宮鏡下手術後、長期の経過で子宮体癌を発症した2例. 第133回関東連合産科婦人科学会. 平成29年6月. 東京都.

千代田達幸, 谷口早絵, 横屋瀬里香, 坂井瞳, 鈴木玲子, 鍋木友子, 入江理恵, 杉浦仁, 中田さくら. Atypical polypoid adenomyoma における細胞像の検討. 第58回臨床細胞学会. 平成29年5月. 大阪市.

玉川真澄, 春日義史, 鈴木毅, 金善恵, 樋口隆幸, 上野和典, 中田さくら, 染谷健一, 林保良. 子宮内多嚢胞性病変として描出された水腫様流産の1例. 日本超音波医学会第29回関東甲信越地方学術集会. 平成29年11月. 東京都.

玉川真澄, 春日義史, 鈴木毅, 金善恵, 樋口隆幸, 上野和典, 中田さくら, 染谷健一, 林保良. 当院における飛び込み分娩の検討. 第420回神奈川産婦人科学会学術講演会. 平成29年11月. 神奈川.

Lin B, Hysteroscopic Myomectomy, Reproductive surgery Hans-on workshop 1st APAGE/GESM Scientific Meeting. Apr. 2017. Kuala Lumpur, Malaysia.

Lin B, The limitation of hysteroscopic myomectomy. The 5th APAGE Regional Conference of Northeast China & SHENGJING Minimally Invasive Gynecologic Forum. May. 2017. Shenyang, China.

Lin B, Hysteroscopy and intrauterine pathology, China - US gynecologic laparoscopy summit (AAGL Shanghai regional conference). Jul. 2017. Shanghai, China.

Lin B, Hysteroscopy and Transcervical Resection (TCR) . Precongress Workshop 18th APAGE Annual Congress 2017. Sep. 2017. okayama.

Lin B, Tamagawa M, Suzuki T, Kasuga Y, Kim S, Higuchi T, Ueno K, Someya K, Nakada S.

The development of new Lin myoma graspers and its clinical applications. 18th APAGE Annual

Congress 2017. Sep. 2017. okayama.

Lin B, Tamagawa M, Suzuki T, Kasuga Y, Kim S, Higuchi T, Ueno K, Someya K, Nakada S. The development of two new snare loops for office-based hysteroscopic polypectomy. 18th APAGE Annual Congress 2017. Sep. 2017. okayama.

Ueno K, Lin B, Tamagawa M, Suzuki T, Kasuga Y, Kim S, Higuchi T, Nakada S, Someya K. A case of diagnostic laparoscopy in woman with pregnancy of unknown. 18th APAGE Annual Congress 2017. Sep. 2017. okayama.

Nakada S, Lin B, Tamagawa M, Suzuki T, Kasuga Y, Kim S, Higuchi T, Ueno K, Someya K. Three cases of endometrioid polyps caused by long term treatment of Tamoxifen treated successfully by hysteroscopic surgery. 18th APAGE Annual Congress 2017. Sep. 2017. okayama.

Kim S, Tamagawa M, Suzuki T, Kasuga Y, Higuchi T, Ueno K, Someya K, Lin B, Nakada S. Total laparoscopic hysterectomy in two cases with congenital anomalies of the kidney and urinary tract. 18th APAGE Annual Congress 2017. Sep. 2017. okayama.

Lin B, Hysteroscopic management of intrauterine diseases. "2017 Shanghai Minimally Invasive Gynecology Forum (APAGE Shanghai Regional Conference)". Sep. 2017. Shanghai.

Lin B, Office hysteroscopy v. s. ultrasound for detection of endometrial lesion. TAMIG 10th annual meeting. Oct. 2017. Taipei.

Lin B, Hysteroscopy in clinical practice. TAMIG 10th annual meeting. Oct. 2017. Taipei.

Lin B, The limit of hysteroscopic myomectomy. 2016 上海第一婦嬰婦科高峰论坛, Dec. 2017. Shanghai.

玉川真澄, 樋口隆幸, 鈴木毅, 春日義史, 金善恵, 林保良, 上野和典, 染谷健一, 中田さくら. 当院で経験した径 15 cm 以上の妊娠合併卵巣嚢腫に対する腹腔鏡下卵巣嚢腫切除術の 2 例. 第 421 回神奈川県産科婦人科学会学術講演会. 平成 30 年 3 月. 横浜市

(12) 眼科

小澤紘子. 筋強直性ジストロフィー患者に認めた両眼の花弁状白内障の一例. 一般演題. 第 41 回日本眼科手術学会学術総会. 平成 30 年 1 月. 京都.

富田洋平. 選択的 PPAR α 刺激によるマウス網膜症モデルでの抗血管新生および神経保護. 口頭. 日本眼科学会学術総会. 平成 29 年 4 月. 東京.

富田洋平. 両眼の巨大な PED が改善した 1 例. 口頭. 第 12 回神奈川黄斑研究会. 平成 29 年 4 月. 横浜.

Yohei Tomita. A selective PPAR α modulator has preventive effects in murine models of retinopathy. Poster. ARVO meeting. May 2017. Baltimore.

富田洋平. マウス酸素網膜症モデルにおける pemafibrate のマウス酸素網膜症モデルにおける pemafibrate の抗血管新生作用機序の検討. 日本網膜硝子体学会. 平成 29 年 12 月. 東京.

富田洋平. XY1 を用いた小切開白内障手術. 映像提供. 日本臨床眼科学会. 平成 29 年 10 月. 東京.

(13) 耳鼻咽喉科

Yoshihiro Watanabe, Yorihiisa Imanishi, Hiroyuki Ozawa, Kaori Kameyama, Koji Sakamoto,

Ryoichi Fujii, Seiji Shigetomi, Noboru Habu, Kuninori Otsuka, Yoichiro Sato, Mariko Sekimizu, Fumihiro Ito, Yuichi Ikari, Shin Saito, and Kaoru Ogawa. Anti-cancer effects of selective Cox-2 and EP2 inhibition through suppression of EMT and the clinical implications of overexpression of Cox-2 and downregulation of E-cadherin in pharyngeal squamous cell carcinoma. 一般示説. AACR (American Association for Cancer Research) 2017 Annual Meeting, April 2017. Washington DC, USA.

Yuichi Ikari, Hiroyuki Ozawa, Yori-hisa Imanishi, Tomita Toshiki, Mariko Sekimizu, Yoshihiro Watanabe, Fumihiro Ito, Shin Saito, Kaori Kameyama, and Kaoru Ogawa. The functional and clinicopathological analysis of hypoxia inducible factor-1 α (HIF1- α) in head and neck squamous cell carcinoma. 一般示説. AACR (American Association for Cancer Research) 2017 Annual Meeting, April 2017. Washington DC, USA.

島貫茉莉江, 戸塚大輔, 中原奈々, 佐藤陽一郎, 重富征爾, 今西順久. TPF療法における投与前および投与開始後早期単球数による発熱性好中球減少症の予測能の検討. 一般口演. 第118回日本耳鼻咽喉科学会学術講演会. 平成29年5月. 広島市.

渡部佳弘, 今西順久, 小澤宏之, 坂本耕二, 藤井良一, 重富征爾, 羽生昇, 佐藤陽一郎, 関水真理子, 伊藤文展, 猪狩雄一, 斎藤真, 富田俊樹, 小川郁. 咽頭扁平上皮癌におけるCox2およびEP2選択的阻害によるEMT抑制効果とE-cadherinとCox2発現の臨床的意義の検討. 一般口演. 第118回日本耳鼻咽喉科学会学術講演会. 平成29年5月. 広島市.

伊藤文展, 小澤宏之, 島貫茉莉江, 若林毅, 斎藤真, 猪狩雄一, 平賀良彦, 関水真理子, 渡部佳弘, 佐藤陽一郎, 南修司郎, 坂本耕二, 今西順久, 小川郁. 当院および関連施設におけるレンバチニブ使用の現状. 一般口演. 第118回日本耳鼻咽喉科学会学術講演会. 平成29年5月. 広島市.
中原奈々, 今西順久, 島貫茉莉江, 戸塚大輔, 佐藤陽一郎, 重富征爾, 栗林徹, 黒岩信子, 竹中浩二. 下咽頭喉頭癌放射線治療例におけるnutritional-immune-inflammatory markerの予後予測能の検討. 一般口演. 第41回日本頭頸部癌学会. 平成29年6月. 京都市.

佐藤陽一郎, 中原奈々, 戸塚大輔, 島貫茉莉江, 栗林徹, 竹中浩二, 黒岩信子, 小澤幸彦, 今西順久. 喉頭下咽頭癌放射線治療症例における治療前PET-CT SUVmax値の予後予測能の検討. 一般口演. 第41回日本頭頸部癌学会. 平成29年6月. 京都市.

関水真理子, 小澤宏之, 斎藤真, 猪狩雄一, 伊藤文展, 今西順久, 小川郁. 中咽頭扁平上皮癌75例におけるp16およびCOX-2発現の検討. 一般口演. 第41回日本頭頸部癌学会. 平成29年6月. 京都市.

松居祐樹, 佐藤陽一郎, 山田浩之, 南隆二, 此枝生恵. 耳管咽頭口に発生した粘表皮癌の一例. 一般口演. 第69回慶浜耳鼻科研究会. 平成29年6月. 横浜市.

島貫茉莉江, 井口聖名, 佐藤えみり, 佐藤陽一郎, 重富征爾, 今西順久. TPF療法における発熱性好中球減少症の発症予測因子の検討. 一般口演. 第69回慶浜耳鼻科研究会. 平成29年6月. 横浜市.

今西順久, 佐藤陽一郎, 島貫茉莉江, 佐藤えみり, 井口聖名, 小澤宏之, 坂本耕二, 藤井良一, 重富征爾, 羽生昇, 大塚邦憲, 渡部佳弘, 関水真理子, 伊藤文展, 小川郁. 下咽頭癌および声門上癌に対する経口切除術(TOVS)の長期治療成績. 一般口演. 第18回頭頸部表在癌研究会. 平成29年7月. 東京都.

井口聖名, 佐藤陽一郎, 佐藤えみり, 島貫茉莉江, 今西順久. 診断に難渋した耳下腺腫瘍の一例. 一般口演. 日本耳鼻咽喉科学会神奈川県地方部会第 180 回学術講演会. 平成 29 年 9 月. 横浜市.

佐藤陽一郎, 今西順久, 島貫茉莉江, 佐藤えみり, 井口聖名. 治療前 PET-CT SUVmax による喉頭癌の予後予測について. 一般口演. 日本耳鼻咽喉科学会神奈川県地方部会第 180 回学術講演会. 平成 29 年 9 月. 横浜市.

佐藤えみり, 三枝英人, 井口聖名, 島貫茉莉江, 佐藤陽一郎, 今西順久. 嚥下障害を発症した X 連鎖性ミオチューブラーミオパチーの 1 例. 一般口演. 第 70 回慶浜耳鼻科研究会. 平成 29 年 9 月. 横浜市.

渡部佳弘, 今西順久, 小澤宏之, 坂本耕二, 藤井良一, 重富征爾, 羽生昇, 亀山香織, 小川郁. 咽頭癌細胞株における Cox2 及び EP2 選択的阻害による EMT 抑制効果と咽頭扁平上皮癌における E-cadherin と Cox2 発現の臨床的意義の検討. 一般示説. 第 76 回日本癌学会学術総会. 平成 29 年 9 月. 横浜市.

佐藤陽一郎, 今西順久, 中原奈々, 戸塚大輔, 島貫茉莉江, 佐藤えみり, 井口聖名, 栗林徹, 舟越和人, 竹中浩二, 黒岩信子, 小澤幸彦. 喉頭下咽頭癌症例における治療前 PET-CT SUVmax の予後予測能の検討. 一般口演. 第 55 回日本癌治療学会学術集会. 平成 29 年 10 月, 横浜市.

佐藤陽一郎, 今西順久, 島貫茉莉江, 佐藤えみり, 井口聖名, 栗林徹, 舟越和人, 小澤幸彦. 喉頭癌放射線治療症例における治療前 PET-CT SUVmax を用いた予後予測能の検討. 一般口演. 第 69 回日本気管食道科学会. 平成 29 年 11 月. 大阪市.

佐藤陽一郎, 植田良, 戸田正博. 耳管開口部に生じた上咽頭癌の一例. 一般口演. 第 3 回内視鏡頭蓋底手術研究会. 平成 29 年 11 月. 東京都.

井口聖名, 佐藤陽一郎, 佐藤えみり, 島貫茉莉江, 今西順久. 顎下部に生じた嚢胞性病変の 1 例. 一般口演. 第 15 回慶應耳鼻咽喉科臨床懇話会. 平成 30 年 1 月. 東京都.

島貫茉莉江, 井口聖名, 佐藤えみり, 佐藤陽一郎, 今西順久. 原発巣による呼吸症状を呈した甲状腺進行癌 3 例におけるレンバチニブの使用経験. 一般口演. 第 72 回慶浜耳鼻科研究会. 平成 30 年 3 月. 横浜市.

佐藤えみり, 井口聖名, 島貫茉莉江, 佐藤陽一郎, 重富征爾, 今西順久. 化学放射線療法を施行した下咽頭・声門上癌症例における hematological inflammatory and nutritional markers の予後予測能の検討. 一般口演. 日本耳鼻咽喉科学会神奈川県地方部会第 182 回学術講演会. 平成 30 年 3 月. 横浜市.

井口聖名, 佐藤陽一郎, 島貫茉莉江, 佐藤えみり, 今西順久. 術後に Horner 徴候を伴わず first bite syndrome を発症した交感神経鞘腫の 1 例. 一般口演. 日本耳鼻咽喉科学会神奈川県地方部会第 182 回学術講演会. 平成 30 年 3 月. 横浜市.

(14) リハビリテーション科

小島巖. 病棟ダイルームを活用したリハビリテーション実施とその効果. 第 56 回全国自治体病院学会. 平成 29 年 10 月. 千葉.

(15) 放射線診断科

前島克哉, 井上政則, 田村 全, 鳥飼秀幸, 小黒草太, 中塚誠之, 田村謙太郎, 屋代英樹, 倉田忠

宜、成松芳明、陣崎雅弘、佐々木淳一. 医原性肋間動脈損傷の動脈塞栓術(TAE), 第46回日本IVR学会総会, 平成29年5月19日. 岡山市.

倉田忠宜, 佐藤宏朗, 富山照子, 長谷川市郎, 成松芳明. 腓体部癌術後合併症に苦慮した一例. 第496回東京アンギオ・IVR会. 平成30年2月. 東京.

三宅博之. 専門部会プログラム:第49回計測部会 シンポジウム「面積線量計について学ぼう」『一般撮影部門における面積線量計の活用法』. 第74回日本放射線技術学会. 平成29年4月. 横浜.

小切孝洋. 放射線治療ビギナー講習会. 各施設の患者セットアップ方法について. 研究発表. 平成29年度第3回神奈川放射線治療技術研究会. 平成30年2月. 藤沢市

川島美幸. 肘関節側面撮影を応用した尺骨神経溝のポジショニングの検討. 研究発表. 第17回神奈川放射線学術大会. 平成30年2月. 横浜.

小野美歩. ポータブル撮影において被写体厚が散乱線除去処理ソフトウェアに及ぼす影響. 研究発表. 第17回神奈川放射線学術大会. 平成30年2月. 横浜.

(16) 麻酔科

逢坂佳宗. 術後痛における超音波ガイド下ブロックの役割. 学会. 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第57回合同学術集会. 平成29年9月. 東京都.

瀬上和貴. 術前オピオイド使用患者の術後鎮痛計画. PBLD コメンテーター. 日本麻酔科学会第64回学術集会. 平成29年5月. 神戸市.

青木真理子. 急性心筋梗塞発表44日後の全身麻酔において循環管理に難渋した一例. ポスター発表. 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第57回合同学術集会. 平成29年9月. 東京都.

北嶋宏輝. A Case of Delayed Cerebrospinal fluid hypovolemia After Endoscopic Posterolateral Lumbar Interbody Fusion. ポスター発表. 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第57回合同学術集会. 平成29年9月. 東京都.

平川雄亮. 筋強直性ジストロフィー患者の子宮筋腫核出術において術中低換気に対してNPPVを使用した一例. ポスター発表. 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第57回合同学術集会. 平成29年9月. 東京都.

(17) 救急科

田熊清継, 日本熱傷学会学術委員会. 熱傷患者における感染症対策 熱傷の死因としての感染症について JSBI 熱傷レジストリ統計から. シンポジウム. 第43回日本熱傷学会. 平成29年5月. 東京都.

齋藤豊, 植松敬子, 荘司清, 田熊清継. 川崎市立川崎病院のMTP. 会議録. 第31回日本外傷学会. 平成29年6月. 横浜市.

齋藤豊, 三吉貴大, 植松敬子, 金尾邦生, 春成学, 進藤健, 竹村成秀, 塩島裕樹, 荘司清, 田熊清継. 川崎市南部地域における拡大2行為施行前後でのブドウ糖投与までの時間の変化の検討. 会議録. 第45回日本救急医学会. 平成29年10月. 大阪市.

塩島裕樹, 齋藤豊, 田熊清継. 当院に救急搬送された競輪外傷の検討. 会議録. 第45回日本救急医学会. 平成29年10月. 大阪市.

進藤健, 三吉貴大, 塩島裕樹, 植松敬子, 金尾邦生, 春成学, 竹村成秀, 荘司清, 齋藤豊, 田熊

清継. 当院でのアナフィラキシー症例の検討. 会議録. 第45回日本救急医学会. 平成29年10月. 大阪市.

竹村成秀, 三吉貴大, 植松敬子, 春成学, 金尾邦生, 進藤健, 塩島裕樹, 荘司清, 齋藤豊, 田熊清継. 当院における心筋梗塞診断時の大動脈解離除外の現状. 会議録. 第45回日本救急医学会. 平成29年10月. 大阪市.

春成学, 金尾邦生, 進藤健, 竹村成秀, 塩島裕樹, 荘司清, 齋藤豊, 田熊清継. 改正道路交通法施行前後の自転車飲酒運転による交通外傷の検討. 会議録. 第45回日本救急医学会. 平成29年10月. 大阪市.

荘司清, 田熊清継, 齋藤豊, 竹村成秀, 進藤健, 春成学, 塩島裕樹, 植松敬子, 三吉貴大, 金尾邦生. 浴槽内CPAの蘇生に影響する因子の検討. 会議録. 第45回日本救急医学会. 平成29年10月. 大阪市.

植松敬子, 三吉貴大, 金尾邦生, 春成学, 進藤健, 竹村秀成, 塩島裕樹, 荘司清, 齋藤豊, 田熊清継. 外傷診療におけるCT室滞在時間短縮への取り組み. 会議録. 第45回日本救急医学会. 平成29年10月. 大阪市.

三吉貴大, 植松敬子, 塩島裕樹, 土井賢治, 金尾邦生, 春成学, 竹村成秀, 進藤健, 荘司清, 齋藤豊, 田熊清継. 当院における脳出血に対するSiriraj scoreの有用性の検討. 平成29年10月. 大阪市.

石田径子, 植松敬子, 齋藤豊, 田熊清継. 馬に蹴られて受傷した小腸穿孔の一例. 会議録/症例報告. 第68回日本救急医学会関東地方会. 平成30年1月. 東京都.

井上聡, 三吉貴大, 齋藤豊, 田熊清継. 酸化マグネシウム製剤により高マグネシウム血症(Mg血症)と壊死型閉塞性大腸炎の合併が疑われた1例. 会議録/症例報告. 第68回日本救急医学会関東地方会. 平成30年1月. 東京都.

金子翔太郎, 土屋光正, 齋藤豊, 田熊清継. 燻煙式殺虫剤の使用後に化学性肺炎となった1例. 会議録/症例報告. 第68回日本救急医学会関東地方会. 平成30年1月. 東京都.

藤網隆太郎, 白川和宏, 土屋光正, 宮寫和宏, 三吉貴大, 植松敬子, 金尾邦生, 春成学, 竹村成秀, 進藤健, 塩島裕樹, 荘司清, 齋藤豊, 田熊清継. ナツメグ中毒の一例. 会議録/症例報告. 第68回日本救急医学会関東地方会. 平成30年1月. 東京都.

鳥海聡, 竹村成秀, 石田径子, 土屋光正, 宮寫和宏, 白川和宏, 三吉貴大, 植松敬子, 金尾邦生, 春成学, 進藤健, 塩島裕樹, 荘司清, 齋藤豊, 田熊清継. コンパートメント症候群を伴い減張切開術を施行したマムシ咬傷の一例. 会議録/症例報告. 第68回日本救急医学会関東地方会. 平成30年1月. 東京都.

(18) 歯科口腔外科

安居孝純. 高い治療効果を有する歯髄幹細胞の分離をめざして. 教育講演. 第38回日本炎症・再生医学会. 平成29年7月. 大阪市.

矢島祥助, 安居孝純, 軽部健史, 佐藤仁, 蔭山雄基, 苧生田整治, 船越和人, 栗林徹, 片山真, 鬼澤勝弘. 脳腫瘍に対する定位放射線照射におけるバイトプレートの有用性. 一般演題. 第51回日本口腔科学会関東地方部会学術集会. 平成29年9月. 東京.

(19) 検査科

千代田達幸, 谷口早絵, 横屋瀬里香, 坂井瞳, 鈴木玲子, 鏑木友子, 入江理恵, 杉浦仁, 中田さくら. Atypical polypoid adenomyoma における細胞像の検討. 第 58 回日本臨床細胞学会総会. 平成 29 年 5 月. 大阪.

中川原賢亮, 脇坂悠介, 井上健太郎, 有泉健, 高木英恵, 玉井博修, 野崎博之, 岡野裕, 秋月哲史, 杉浦仁. 急性肝炎様に発症し肝生検にて早期に診断し得た末梢性 T 細胞リンパ腫の 1 例. 第 634 回日本内科学会関東地方会. 平成 29 年 7 月. 東京.

折笠英紀, 横屋瀬里香, 堀井千裕, 杉浦仁, 道振康平, 廣島健三. 胸水細胞診で難渋した, 軟骨肉腫成分を伴う肉腫型悪性中皮腫の 1 例. 第 24 回石綿・中皮腫研究会. 平成 29 年 10 月. 大阪

井上健太郎, 相浦浩一, 松原祥平, 野間絵梨子, 脇坂悠介, 津軽開, 花田亮太, 有泉健, 高木英恵, 玉井博修, 三原規奨, 市東昌也, 折笠英紀, 杉浦仁. 増大傾向を示す単房性腺嚢胞により主腺管の圧排・狭窄を来し, 腺癌類似の画像所見を呈した 1 例. 第 105 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会. 平成 29 年 12 月. 東京.

田中優衣, 井上健太郎, 花田亮太, 松原祥平, 有泉健, 高木英恵, 玉井博修, 岡野裕, 野崎博之, 折笠英紀. 直腸肛門管原発無色素性悪性黒色腫に対してニボルマブを使用した 1 例. 第 638 回日本内科学会関東地方会. 平成 29 年 12 月. 東京.

(20) 薬剤部

町田浩晃, 小林綾, 小林岳, 飯島尚志. CHDF 患者に対してバンコマイシンの投与量を推奨した一例. 第 16 回かながわ薬剤師学術大会. 平成 30 年 1 月.

小林岳, 小林綾, 町田浩晃, 坂本光男, 飯島尚志. AMR 対策アクションプランに本当に必要な対策とは何か 薬剤耐性動向から探索する抗菌薬適正使用アプローチ. 第 27 回日本医療薬学会年会. 平成 29 年 11 月.

小林岳, 小林綾, 町田浩晃, 坂本光男. 抗菌薬適正使用支援活動の抗菌薬使用動向に及ぼす影響. 第 65 回日本化学療法学会学術集会. 平成 29 年 4 月.

井上彰大. 簡易懸濁法によるフィーディングチューブ閉塞の原因と対策. 第 33 回日本静脈経腸栄養学会学術集会. 平成 30 年 2 月.

町田浩晃, 小林綾, 小林岳, 飯島尚志. CHDF 患者に対してバンコマイシンの投与量を推奨した一例. 第 138 回日本薬学会. 平成 30 年 3 月.

(21) ME センター

西根 啓太. 手術室専任臨床工学技士常駐後の業務内容についての報告. 第 56 回全国自治体病院学会. 平成 29 年 10 月.

井汲 康典, 笹屋 賢史, 西根 啓太, 芝 真佐樹, 山口 和哉, 中尾 一俊, 森田 慶久. 医薬品注入コントローラ「ドリップ・アイ NE-1」と「フローサイン-2」の比較検討. 第 27 回日本臨床工学会. 平成 29 年 5 月. 青森市.

(22) 看護部

元麻李, 手術室で発生した皮膚トラブルに関する看護師の意識, 継続看護の実態調査～情報共有で

病棟での継続した看護につなげる～. 第31回日本手術看護学会. 平成29年11月.

佐久間祐樹. バイタルサイン・外部データ自動取り込みシステム導入による看護記録業務の効果と課題. 第45回日本集中治療医学会学術集会. 平成30年2月.

鶴巻元子. 職場意識変容への取組み～職場コミュニティ感覚尺度を用いた調査～. 第56回全国自治体病院学会. 平成29年10月.

武田玲子. 看護補助者ひとり一人が働きやすい職場を目指して看護補助者の意識調査. 第56回全国自治体病院学会. 平成29年10月.

吉田美紗. アクションリサーチを用いたスタッフの災害への意識変容～災害シミュレーションを通して～. 第48回日本看護学会看護管理学術集会. 平成29年10月.

柳井田恭子. 看護師長の実践知の共有～マネジメント発表会の現状と課題～. 第48回日本看護学会看護管理学術集会. 平成29年10月.

出水要子. 一人ひとりが働きやすいと思う職場を目指して①組織への「愛着」に影響する要因. 第48回日本看護学会看護管理学術集会. 平成29年10月.

原田直子. 一人ひとりが働きやすいと思う職場を目指して②子育て支援とそれを支える職員との思いのずれ. 第48回日本看護学会看護管理学術集会. 平成29年10月.

柳井田恭子. 一人ひとりが働きやすいと思う職場を目指して③看護師が思う「働きやすい職場」とその構造. 第48回日本看護学会看護管理学術集会. 平成29年10月.

大山美和子. 薬物過剰摂取患者の深部静脈血栓予防の視点～肺血栓側線症の発症例と非発症例との比較調査より～. 日本臨床救急医学会総会学術集会. 平成29年5月.

7 講演会等

(1)小児科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 30 年 2 月 8 日	川崎市学校医部 会	土橋隆俊	学校検診で問題とな る先天性心疾患につ いて	川崎市医師 会
平成 29 年 6 月	第 384 回川崎小児 科医会症例検討 会	進藤淳也	高度の黄疸と血小板 減少をきたした EB ウ イルス感染症の一例	院内
平成 29 年 6 月	第 384 回川崎小児 科医会症例検討 会	古川律子	コントロール不良 Basedow 病母体から出 生した兄弟例	院内
平成 29 年 6 月	第 384 回川崎小児 科医会症例検討 会	土橋隆俊	小児の胸痛について	院内
平成 30 年 2 月	第 388 回川崎小児 科医会症例検討 会	西恵美里	レプトスピラ	院内
平成 30 年 2 月	第 388 回川崎小児 科医会症例検討 会	玉岡哲	2 か月男児の虐待が疑 われた事例	院内

(2)外科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 29 年 5 月 16 日	市民公開講座	夏錦言	がんと闘う市立川崎 病院 ～食道がん・胃 がん～	ミューザ 川崎
平成 29 年 6 月 13 日	がん診療連携委員 会	夏錦言	「がん教育」	院内
平成 29 年 6 月 29 日	市民公開講座	萬谷京子	知っておきたい女性 特有のがん疾患	院内

(3) 脳神経外科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 29 年 11 月 21 日	平成 29 年度川崎 市川崎区医師会 合同常会 第 58 回 ミーティング・ザ・スペ シャリスト	小野塚聡	急性期脳梗塞の最新 治療：tPA 治療と血栓 回収療法	院内
平成 30 年 2 月 20 日	平成 29 年度 川崎市消防局勉 強会	今西智之	くも膜下出血	院内

(4) 整形外科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 29 年 6 月 2 日	第 5 回 Hokuso Spine Joint Meeting	中道憲明	広範囲腱板断裂に対 する広背筋移行術 (Habermeyer 法) の有 用性	千葉県
平成 29 年 5 月 24 日	井田病院リウマ チ懇話会	小柳貴裕	リウマチ性疾患にお ける体軸の痛み	井田病院
平成 29 年 9 月 25 日	整形外科医会(共 催)	小柳貴裕	神経障害性疼痛から みた脊椎疾患	リッチモン ドホテル
平成 30 年 3 月 24 日	東京都城東整形 外科医会	小柳貴裕	整形外科における統 計処理の歴史と陥穽	秋葉原コミ ュニティホ ール東京都 整形外医
平成 29 年 9 月 10 日	日本手外科学会	西脇正夫	橈骨遠位端骨折	北海道大学 医学部
平成 30 年 2 月 7 日	川崎幸病診 Net	上田誠司	骨粗鬆症と脊椎疾患 —地域連携—	院内

(5) 形成外科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 29 年 7 月 10 日	褥瘡委員会	奥島久貴	褥瘡について	院内

(6) 精神科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 29 年 5 月 28 日	緩和ケア研修会	齋藤寿昭	精神症状（せん妄、気 持ちのつらさ）	院内

(7) 産科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 29 年 6 月 29 日	市民公開講座	中田さくら	知っておきたい女性 特有のがん疾患	院内

(8) 泌尿器科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 29 年 6 月 23 日	泌尿器科，地域医 療部	服部盛也、原智	第 5 回泌尿器科病診連 携の会の初期経験	院内
平成 29 年 8 月 4 日	市民公開講座	原智	おしっこが出ない!? ～前立腺肥大症・前立 腺がんについて～	院内
平成 29 年 9 月 6 日	みなと慢性便秘 セミナー	前田高宏	排尿障害と便秘につ いて	東京都済生 会中央病院

(9) 眼科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 29 年 6 月 14 日	アルコンファー マ	厚東隆志医師 (杏林大学) 座長 富田洋平	DME CLINICAL MEETING	グランドプ リンスホテ ル高輪サク ラタワー
平成 29 年 12 月 12 日	アルコンファー マ	長谷川泰司医師 (東京女子医大) 座長 富田洋平	RVO CLINICAL MEETING	ストリング スホテル東 京インター コンチネン タル

平成 30 年 2 月 16 日	市民公開講座	堀内直樹	ここまで進歩した白 内障手術！	院内
平成 30 年 2 月 8 日	大塚製薬株式会 社	伊藤賀一	YAG レーザー後囊切開 術に人生を狂わされ た 1 例	横浜ベイホ テル東急

(10) 耳鼻咽喉科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 29 年 6 月 13 日	第 69 回慶浜耳鼻 科研究会 ミニ レクチャー	今西順久	下咽頭・喉頭声門上病 変に対する経口切除 術 up-to-date	エーザイ横 浜コミュニ ケーション オフィス
平成 29 年 10 月 14 日	第 12 回日本耳鼻 咽喉科学会神奈 川県地方部会川 崎医会学術集会 招請講演	今西順久	川崎市立川崎病院耳 鼻咽喉科の診療と臨 床研究の現況	川崎日航ホ テル
平成 30 年 3 月 16 日	第 6 回南関東頭頸 部腫瘍懇話会 招 請講演	島貫茉莉江	Predictive factors of febrile neutropenia development in patients undergoing TPF chemotherapy for head and neck squamous cell carcinoma TPF 療法における発熱性 好中球減少症の発症 予測因子の検討	住友不動産 新宿グラン ドタワー

(11) リハビリテーション科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 30 年 2 月 15 日	川崎区在宅療養 推進協議会	阿部玲音	誤嚥性肺炎って知っ ていますか？	ライフコミ ューン川崎

(12) 放射線診断科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 30 年 2 月 7 日	第 8 回幸・川崎病 診 Net	中原理紀	PET/CT による悪性腫 瘍診断の現状	院内
平成 30 年 3 月 19 日	放射線診断科	緒方雄史	FDG-PET 検査の基礎知 識	院内

(13) 麻酔科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 29 年 7 月 29 日	第 1 回川崎地区区 域麻酔検討会	逢坂佳宗	下肢+体幹神経ブロッ クハンズオン	川崎市
平成 29 年 10 月 21 日	第 4 回相模原地区 神経ブロックハン ズオンセミナー	逢坂佳宗	各部位におけるブロ ック総論	相模原市
平成 29 年 11 月 11 日	藤田保健衛生大 学 PNB ワークショ ップ	逢坂佳宗	藤田保健衛生大学 PNB ワークショップ	名古屋市
平成 29 年 11 月 25 日	順天堂大学浦安 PNB ワークショッ プ	逢坂佳宗	順天堂大学浦安 PNB ワ ークワークショップ	浦安市
平成 29 年 12 月 2 日	第 3 回浜松 NerveBlock セミ ナー	逢坂佳宗	上肢手術に用いる末 梢神経ブロック.	浜松市
平成 29 年 12 月 9 日	第 2 回川崎地区区 域麻酔検討会	逢坂佳宗	上肢、傍脊椎神経ブロ ックハンズオン	川崎市
平成 29 年 12 月 16 日	第 1 回東海大学神 経ブロックハン ズオンセミナー	逢坂佳宗	各部位におけるブロ ック総論	伊勢原市
平成 30 年 1 月 13 日	慶應義塾大学 PNB ハンズオンセミ ナー	逢坂佳宗	超音波ガイド下末梢 神経ブロックの基礎 と神経描出の基本	東京都
平成 30 年 1 月 20 日	東京大学医学部 付属病院 PNB ワー クワークショップ	逢坂佳宗	東京大学医学部付属 病院 PNB ワークショッ プ	東京都
平成 30 年	GE エコポック	逢坂佳宗	超音波ガイド下末梢	東京都

2月18日			神経ブロックの基礎 と神経描出の基本	
-------	--	--	-----------------------	--

(14) 歯科口腔外科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成29年 6月30日	川崎市歯科医師 会	鬼澤勝弘	第26回川崎病院症例 検討会 知らないと 怖いperからの続 発症	川崎市歯科 医師会館
平成30年 3月23日	川崎市歯科医師 会	鬼澤勝弘	第27回川崎病院症例 検討会 こんな時ど うする 口腔外科編	川崎市歯科 医師会館
平成29年 9月7日	NST 部会	安居孝純	口腔ケア 基本から もう一度	院内
平成29年 11月26日	川崎市歯科医師 会	鬼澤勝弘	口腔癌検診	川崎市歯科 医師会館
平成29年 4月15日	神奈川歯科大学	鬼澤勝弘	ヒヤリハットに学ぶ 医療安全	神奈川歯科 大学

(15) 検査科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成29年 6月3日	一般社団法人神 奈川県臨床検査 技師会	横屋瀬里香	病理検査の医療安全 ～検体取り違え防止 対策	神奈川歯科 大学横浜研 修センター
平成29年7月 2日	一般社団法人神 奈川県臨床検査 技師会	三津田太郎	輸血検査における問 題解決の方法	東海大学

(16) 救急科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成30年 2月20日	救急科	田熊清継	医師のための救急活 動基準の要点	院内
平成30年 2月20日	川崎市消防局・市 立川崎病院	田熊清継、齋藤豊	救急合同カンファレ ンス	院内
平成29年	院内救急部会	齋藤豊	新人看護師BLS講習会	院内

5月26日				
平成29年 6月23日	救急科	齋藤豊	救命救急士拡大2行為 講習会	院内
平成29年 6月28日	救急科	齋藤豊	病態治療学Ⅲ 救急	院内
平成29年 7月30日	院内救急部会	齋藤豊	ICLS	院内
平成29年 8月20日	救急科	齋藤豊	JPTEC	院内

(17) 食養科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成29年6月 ～平成30年3 月	NST 部会	松原祥平、安居孝純、 井上彰大、本田小百 合、古瀬美穂、鎌田郁 子、小島巖、清水谷弘 美	NST 勉強会（計9回実 施）	院内
平成29年 7月10日	褥瘡対策委員会	小笠原美穂	褥瘡勉強会	院内
平成29年 9月2日	糖尿病診療連携 委員会	津村和大、富岡曜平、 高橋一子	糖尿病市民公開セミ ナー（講演と体験）	院内

(18) 看護部

148ページ参照

8 その他

(1) 消化器外科

（マスコミ）夏錦言. 食道がん・胃がんについて. FMかわさき. 平成29年4月.

(2) 乳腺外科

（マスコミ）萬谷京子. 知っておきたい乳がんの診断・治療・予防について. FMかわさき. 平成29年8月.

(3) 泌尿器科

（マスコミ）原智. 前立腺の病気. FMかわさき. 平成29年7月.

(4) 眼科

（マスコミ）小澤紘子. 知っておきたい白内障について. FMかわさき. 平成30年1月.

(5) リハビリテーション科

（マスコミ）阿部玲音. リハビリテーション科ってどんなところ？リハビリテーション医学の役割について. FMかわさき. 平成29年12月.

(6) 歯科口腔外科

- (マスコミ) 鬼澤勝弘. 埋伏歯について. FMかわさき. 平成 29 年 4 月.
(マスコミ) 鬼澤勝弘. 親知らず (智歯) について. FMかわさき. 平成 29 年 5 月.
(マスコミ) 鬼澤勝弘. 親知らずの抜歯について. FMかわさき. 平成 29 年 6 月.
(マスコミ) 鬼澤勝弘. 上顎正中の過剰歯について. FMかわさき. 平成 29 年 7 月.
(マスコミ) 鬼澤勝弘. 歯の怪我について. FMかわさき. 平成 29 年 8 月.
(マスコミ) 鬼澤勝弘. 顎の骨折. FMかわさき. 平成 29 年 9 月.
(マスコミ) 鬼澤勝弘. 歯科インプラント 1. FMかわさき. 平成 29 年 10 月.
(マスコミ) 鬼澤勝弘. 歯科インプラント 2. FMかわさき. 平成 29 年 11 月.
(マスコミ) 安居孝純. なったら怖い顎骨壊死. FMかわさき. 平成 29 年 12 月.
(マスコミ) 安居孝純. 再生医療って何?～歯科領域の再生医療のこれから～. FMかわさき. 平成 30 年 1 月.
(マスコミ) 矢島祥助. むし歯 治療と予防. FMかわさき. 平成 30 年 2 月.
(マスコミ) 矢島祥助. 歯周病 治療と予防. FMかわさき. 平成 30 年 3 月.

(7) 食養科

- (マスコミ) 太田博子. がんと栄養. FMかわさき. 平成 30 年 2 月.

9 市民対象イベント (当院主催)

(1) 市民公開講座

実施日	講師	演題	開催場所	参加者数
平成 29 年 5 月 16 日	夏 錦言	がんと闘う市立川崎病院 ～食道がん・胃がん～	ミュージア川崎	102 名
平成 29 年 6 月 29 日	中田さくら 萬谷京子	知っておきたい女性特有 のがん疾患	院内	50 名
平成 29 年 8 月 4 日	原 智	おしっこが出ない!? ～前 立腺肥大症・前立腺がんに ついて～	院内	94 名
平成 29 年 9 月 2 日	津村和大 ほか	糖尿病市民公開講座 「自分の身体を知ろう！」	院内	42 名
平成 29 年 10 月 19 日	澤藤 誠 ほか	①知ってほしい肺がんの 最新治療 ～予防・診断か ら治療・手術まで～ ②知っておきたいがんの 備え	院内	49 名
平成 29 年 12 月 20 日	野崎 博之	脳梗塞にならないために ～脳梗塞の予防と治療～	院内	112 名
平成 30 年 2 月 16 日	堀内 直樹	ここまで進歩した白内障 手術!	院内	201 名

(2) 看護の日イベント

実施日	内容	開催場所	参加者数
平成 29 年 5 月 11 日	・ A E D 講習会 ・ 健康相談 ・ 栄養相談	院内	約 70 名

(3) 院内コンサート

実施日	出演者	内容	開催場所
平成 29 年 11 月 6 日	東京交響楽団	ヴィオラ四重奏 (オータムコンサート)	院内
平成 30 年 1 月 12 日	洗足学園音楽大学生	木管五重奏 (新春コンサート)	院内

川崎市立川崎病院年報

第53号（平成29年度版）

平成31年1月31日発行

編集・発行 川崎市立川崎病院
〒210-0013 川崎市川崎区新川通12番1号
電話 044（233）5521(代)
FAX 044（245）9600

川崎病院ホームページ

(<http://www.city.kawasaki.jp/32/cmsfiles/contents/0000037/37856/kawasaki/index.>)

印刷所 株式会社 東邦プラン